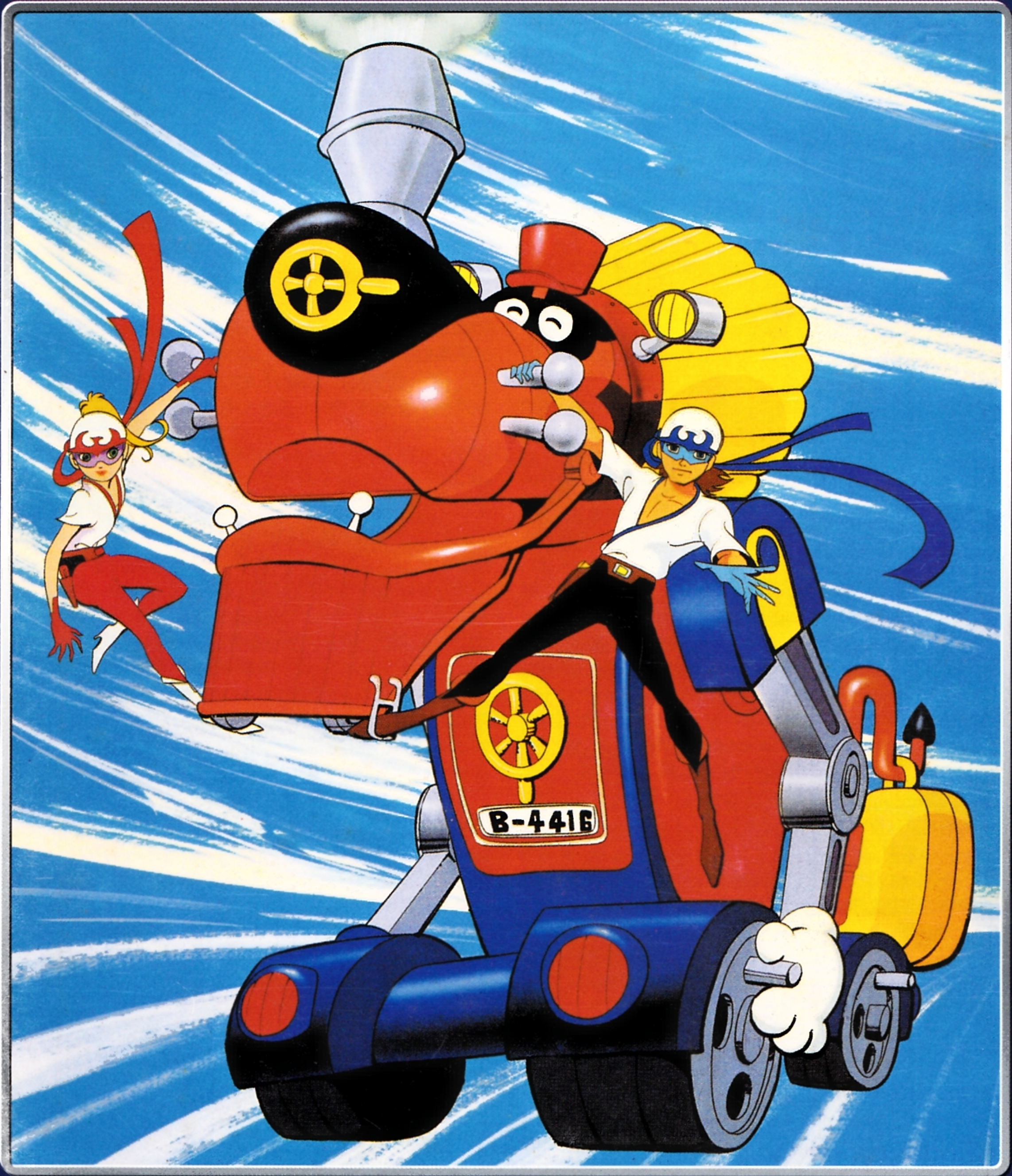


ZENDA-MAN

SPECIAL BOOK

「この世に悪のはびこる限り、ゼンダマンは現れる。善意のカタマリ・ゼンダマン、ただいま参上！」

タイムボカンシリーズ第３弾『ゼンダマン』は、『タイムボカン』のタイムトラベルの面白さと、現実を舞台にして世界中を旅する『ヤッターマン』の楽しさの両方をチョイスした上で、前２作で培われたフォーマットの数々を継承し、正統に発展させた作品である。このフォーマットとは、三悪のキャラクターの確立や個々の細かいギャグ、後にV・S・O・P（ベリー・スペシャル・ワン・パターン）と呼ばれる毎回同じ流れでストーリーが展開する構成などを指すが、正真正銘手探りでパターンを作り上げた『タイムボカン』をシリーズ生みの親とすれば、そのパターンを成熟させ不動のものとし、さらにスタッフ&役者の“ノリ”までもが劇中に大きく反映されるまでに成長させた『ヤッターマン』はシリーズの育ての親と言えるだろう。だが、こうした“黄金のパターン”は、継承していくのが一番難しいのである。仮にも新作であるため、前作とは違うテイストを出さなくてはいけないが、シリーズ物と銘打っているため、前作から大きく離れる訳にもいかない。前作がヒット作なら尚更である。ある意味、『ゼンダマン』という作品は、タイムボカンシリーズがその後も存続可能かどうか試された試金石だったのだ。

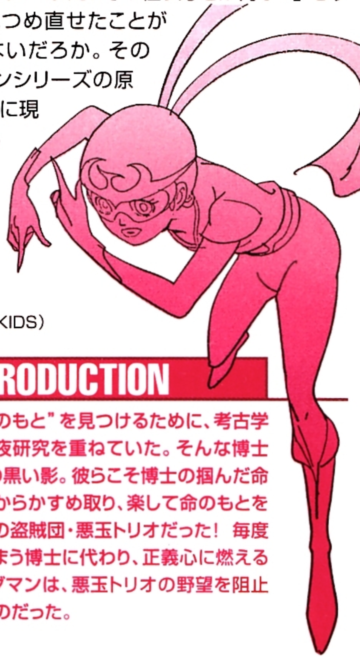
凡人ならば先ほどの状況に追い詰められたらプレッシャーで夜も眠れぬ日々を過ごすところだろう。しかし、当時の笹川総監督をはじめとする当時のスタッフ&キャスト達は、まさに飛ぶブタも落とす勢いの絶好調な状態で、『ゼンダマン』を前２作に負けない秀作に仕立て上げた。前述の黄金のパターンも『ヤッターマン』より洗練された感があり、まるでアメリカ産のカートゥーンの如くオシャレで小気味良いテイストに仕上げられていた。一言で言うと、さらに完成度が高まったということだ。自動車業界では高級車やスポーツカーのマイナーチェンジにおいて外観をほとんど変えずに内部の微調整を繰り返してその自動車本来が有するべきポテンシャルに近づけることがあるが、『ゼンダマン』の作品作りはそれに近い。この創作法によって、『ゼンダマン』は前２作の面白さを受け継ぎながらも、独自のテイストを開拓することに成功したのだ。

もちろん、唯のマイチェンに終始していただけではない。前2作に存在した悪ボスの不在（裁判メカや、裏ボスのニャラボルタはいたが……）、歴史上の人物を現代に呼び寄せるという逆転の発想、さらにヒーローを喰う勢いのメインメカ“ゼンダライオン”（悪玉トリオとの戦いは、全体的に“VSゼンダマン”より“VSゼンダライオン”のイメージの方が強い）等々、斬新なアイデアをこれでもかと投入している。また、劇中で視聴者の子供達（実際にはスタッフの関係の子が多かったようだが）が『ゼンダライオンの歌』を歌うという視聴者参加の要素を強化した点もTVアニメとして斬新だった。声優陣もヒーロー側を前2作出演した太田淑子と岡田茉莉に代わり、当時若手の三ツ矢雄二と滝沢久美子に一新し、大きなイメージチェンジを計った。そして、『ゼンダマン』以降もボカンシリーズの名バイプレイヤーとして活躍する山本正之の声優初レギュラー番組も本作であった。こうした新たな流れの導入の仕方も、後のボカンシリーズ作品に与えた影響は大きい。

メカニック関連では、前作『ヤッターマン』でメインメカから敵メカ、ゾロメカまで一人で多種多様な機体をデザインした大河原邦男が本作でも活躍。前作に引き続き、動物をモチーフにしたゼンダメカは親しみやすく、子供を中心に大人気だった。また特筆すべきは敵側のアクダマメカで、どの機体も合体・変形により2段、3段変化を行う機構を有しており、まさにビックリドッキリなギミックの発案を得意とする大河原邦男の面目躍如といったところだ。しかも、これらを毎週1体づつ、1人で新規にデザインしていたことを考えると、そのバイタリティーたるや驚くべきことである。

『ゼンダマン』以降、タイムボカンシリーズはそのテイストを失うことなく、よりバラエティに富んだ作品群を創出していくが、それは本作で「タイムボカンシリーズ作品のスタンダード（素体）とは何か？　また、その在り方とは何か？」を今一度立ち止まって見つめ直せたことが大きかったのではないだろか。その点で、ある意味ボカンシリーズの原点の旨みが一番純粋に現れた作品とも言える『ゼンダマン』、本ＤＶＤでその醍醐味を充分に楽しんでもらいたい。
（本文敬称略）

●解説：谷澤光一（BEAN KIDS）



STORY INTRODUCTION

不老長寿の秘薬“命のもと”を見つけるために、考古学の権威・紋者博士は日夜研究を重ねていた。そんな博士を見つめる3人＋1匹の黒い影。彼らこそ博士の掴んだ命のもとの手掛かりを横からかすめ取り、楽して命のもとを手に入れようとする謎の盗賊団・悪玉トリオだった！　毎度手掛かりを取られてしまう博士に代わり、正義心に燃える善意のカタマリ・ゼンダマンは、悪玉トリオの野望を阻止するために戦い続けるのだった。

EPISODE GUIDE

■放映データ
1979年2月3日～1980年1月26日
フジテレビ系で放映　全52話

■MAIN STAFF
製作：吉田健二／原作：タツノコプロ企画室／企画：九里一平、鳥海尽三、柳川 茂、酒井あきよし／総監督：笹川ひろし／担当ディレクター（後半）：原征太郎、大貫信夫／文芸担当（後半）：小山高男／キャラクターデザイン：天野嘉孝／メカニックデザイン：大河原邦男／オープニングアニメーション：田中 享／主題歌『ゼンダマンの歌』歌：藤井 健　『これまたアクダマン』歌：山本正之　作詞・作曲：山本正之（ビクターレコード）／音楽：神保正明、山本正之／録音制作：ザックプロモーション／録音ディレクター：鳥海俊材／美術スタイリング：多田喜久子／美術担当：岡田和夫／担当：別所孝治（フジテレビ）、田嶋 潔（フジテレビ）、内間 稔（読売広告社）、大野 実（読売広告社）／プロデューサー：永井昌嗣、横尾 潔／制作協力：アニメフレンド／制作：フジテレビ、タツノコプロ

■MAIN CAST
鉄ちゃん：三ツ矢雄二／さくらちゃん：滝沢久美子／アマッタン：麻上洋子（第1話のみ）、佐久間あい／紋者博士：宮内幸平／ムージョ：小原乃梨子／トボッケー：八奈見乗児／ドンジューロー：たてかべ和也／ニャラボルタ：池田 勝／裁判メカ：宮村義人／ゼンダライオン：山本正之／ゼンダビーバー：田中 勝／ゼンダシロクマ：荒川保男／ゼンダゴリラ：飯塚昭三／ゼンダワン：田中 勝／ナレーター：富山 敬
※名前の表記は放映当時のものに準じております。

第1話　無敵はステキ！ ゼンダマン

不老長寿のエキスである命のもとを探す紋者博士は、その手がかりとなる粘土板のかたわれを持つモアという人物を、完成したばかりのタイムマシンで5000年前の世界から呼び寄せた。その情報を知った悪玉トリオは、モアを先に呼び寄せると、モアと一緒に紋者博士のもとへ行き、博士を騙して粘土板のすべてを手に入れた。そのことを知った鉄ちゃんとさくらちゃんは正義の味方・ゼンダマンに変身。ゼンダライオンを駆り、悪玉トリオを追ってヒマラヤ山脈へむかうのだった。

第2話　竜宮城だよ！ ゼンダマン

命のもとが竜宮城にあるとにらんだ紋者博士は、タイムマシンを使って浦島太郎に連絡を取ろうとする。そこへ変装した悪玉トリオが現れ、手がかりを奪われてしまう。鉄ちゃんとさくらちゃんは早速ゼンダマンに変身して、浦島太郎の時代へと出発する。先に過去の世界へと到着した悪玉トリオは、年老いた浦島太郎をそそのかして竜宮城へと乗り込み、竜宮城の王に宝の倉へと案内するよう脅迫するが……。

タイムトラベルを行うのは今回から。

第3話　エデンの園だよ！ ゼンダマン

命のもとが創世記に書かれたエデンの園の禁断の木の実ではないかと考えた紋者博士だったが、またも手がかりを悪玉トリオに奪われてしまった。ゼンダマンに変身した鉄ちゃんたちは、悪玉トリオを追ってバビロニア平原のアダムとイブの元へとタイムトラベルする。アダムと出会うことができたゼンダマンだったが、イブと彼女の子供は悪玉トリオに連れ去れてしまった。

今回よりゼンダライオンのピンチに登場する救援メカが登場。その一番手はゼンダモグラである。

第4話　ヤマタイ国だよ！ ゼンダマン

紋者博士から命のもとの手がかりを奪った悪玉トリオは古代日本へとやって来た。彼らは北ヤマタイ国のアクタヒコと手を組んで、南ヤマタイ国を侵略しようとする。だが侵攻してきた北ヤマタイ軍に対して、南ヤマタイ国の女王ヒミコが神に祈ると、火山が噴火し洪水が起こり、アクタヒコの軍勢は散り散りになってしまった。

そんなアクタヒコに、心優しいヒミコは救いの手をさしのべる。そして悪玉トリオは、ゼンダマンの前にあえなく敗れ去るのであった。

第5話　月吉丸の大出世！ ゼンダマン

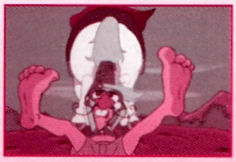
豊臣吉秀が幼い頃に授かった大切なものが命のもとではないかという情報を得た悪玉トリオは、戦国時代へ。幼き吉秀こと月吉丸は、蜂須賀大六に仕えていた。だが大六の命令を無視した月吉丸は、敵の武将に捕まってしまう。そこへ大六が助けに駆けつけた。大六が自分を見捨てて逃げたと思いこんでいた月吉丸だったが、やってきたゼンダマンにさとされ、誤解であったことを知る。そんな月吉丸に、大六は自分が大切にしているものを与えようとするが、そこに悪玉トリオが現れた！

第6話　大進撃だ八字軍！ ゼンダマン

例によって命のもとの手がかりとなる八字剣を、紋者博士からだまし取った悪玉トリオ。彼らを追ってゼンダマンは12世紀のイエルサレムへとやってきた。そこで二人は少年八字軍を率いるフランクと出会った。一方悪玉トリオは、まんまとサスラム軍からもう一つの手がかりとなる半月剣を手に入れることに成功する。だがサスラム軍のサラディン王子は、剣を奪ったのが八字軍であると誤解し、ゼンダマンとともに八字剣を取り戻すためにやってきた八字軍と戦おうとする。

第7話　走れ白馬！ゼンダマン

何百年も生きたという白馬が命のもとの秘密のカギと知った悪玉トリオは、1850年ギリリス国ドンロン郊外へとタイムトラベルした。追いかけるゼンダマンが現地に到着したときには、その白馬・ホワイティは馬泥棒に盗まれたあとだった。その頃、悪玉トリオは偶然にも馬泥棒と出会い、互いに手を組むことにした。そのことを知ったゼンダマンは、ホワイティ救出に向かうのだった。



6話までの勝利の手打ち式に代わって、お馴染みの勝利の確認が今回より登場する。

第8話　ドン・万次郎だよ！ゼンダマン

ドン万次郎が命のもとの手がかりを知っているという情報を、例によって紋者博士から得た悪玉トリオは、1841年のマメリカにやってきた。ジャポン国へ航海に出た万次郎だが、嵐にあい船は難破してしまう。そこへ悪玉トリオが現れ万次郎に詰め寄るが、彼はハングライダーで故郷のジャボン国へと渡るのだった。ジャボン国に到着した万次郎だったが、先回りしていた悪玉トリオに捕まりそうになってしまう。そこにゼンダマンが登場、見事に悪玉トリオを撃退するのであった。

第9話　ボケの仙人だよ！ゼンダマン

命のもとを求めて、5世紀中国の桃源郷へとやって来た悪玉トリオ。偶然、命のもとの手がかりを知っていると思われる仙人と出会い、一緒にいた若者ともども弟子にしてもらうことにした。だが仙人の修行はなかなか厳しく、耐えきれなくなった悪玉トリオは、力ずくで仙人から秘密を聞き出そうとする。だがそこへゼンダマンが現れ、悪玉トリオを撃退するのであった。悪玉トリオと一緒に修行していた青年は、父親と和解し、農夫として一緒に暮らすことにしたのだった。

第10話　超徳太子だよ！ゼンダマン

命のもとの手がかりは、古代日本たこるがの里の超徳太子が持っているとの情報を得た悪玉トリオは、古代へとタイムトラベルする。そこで太子と敵対する豪族・熊子と結託し、太子の警備隊長を金で抱き込み暗殺させようとする。暗殺は未遂に終わったが、太子は警備隊長の裏切りが自分の徳のなさであると自戒し、彼の罪を許してやる。計画が失敗した悪玉トリオは自力で暗殺を行おうとするが、そこにゼンダマンが登場。今回も悪玉トリオの悪事は儚く失敗に終わるのであった。

第11話　父をたずねて三千里！ゼンダマン

悪玉トリオは1805年のマルゼンチンへやって来た。父を捜して一人で旅を続けているマルク少年が持っている地図を狙っているのだ。情けは人のためならずで、お金に困っているマルクを助けてやった悪玉トリオではあったが、しっかり者のマルクから地図を手に入れることはできず、結局一緒に旅をすることに……。その頃、マルクの母の元を訪れていたゼンダマンは、地図が命のもとと無関係であるだけでなく、マルクの父親についての秘密も母親から聞き、彼の元へと急ぐのだった。

第12話　長靴をはいた猫！ゼンダマン

悪玉トリオは、命のもとの手がかりを求めて中世のフダンスにいる、長靴をはいた猫のところへとやって来た。その猫はちょうど鬼ヶ山へ鬼退治に向かう最中で、力を貸してくれれば命のもとのことを教えてくれるという。そこで悪玉トリオは、とりあえず行動をともにすることにする。一方先に鬼ヶ山へ到着したゼンダマンは、その鬼と出会い、家出をした息子を捜して欲しいと頼まれる。実は長靴をはいた猫こそが、家出をした鬼の息子が変身した姿だったのだが……。

第13話　バイキングだよ！ゼンダマン

9世紀のバイキングの元へ命のもとを探しにやってきた悪玉トリオとゼンダマン。ちょうどバイキングの若き王・ロロがノルマンディ攻撃のために船出するところであった。しかし船は嵐で難破してしまい、ロロはノルマンディのクヌート王子に捕らえられ、処刑されそうになる。だが、実は二人は生き別れの兄弟だったのだ。その事実を知ったゼンダマンは、二人を説得し和解させるのであった。だが悪玉トリオは彼らを出し抜き、ロロの父が残したバイキングの宝を発見した！

第14話　謎のアステカ！ゼンダマン

15世紀のユカタン半島へとやって来たゼンダマンは、神への生け贄の儀式に反対するアステカの王子と知り合った。一方悪玉トリオは乗ってきたメカが神の使いと誤解され、アステカの民から敬われる。しかし自分たちが神の生け贄にされることを知った悪玉トリオは神殿から逃げ出そうとするが、捕らえられてしまう。そんな彼らを助けた王子だったが、逆に悪玉トリオの人質にされてしまった！

子供服姿で挿入歌を歌う鉄ちゃんとさくらちゃんが、微妙にアヤシイ（笑）。

第15話　ジンギスカンだよ！ ゼンダマン

　大陸へ落ち延びた源義経が、命のもとによって若返りジンギスカンとなったのではないかと考えた紋者博士。悪玉トリオは博士から手がかりを奪い、12世紀のモンゴルへタイムトラベル。ムージョたちはジンギスカンと敵対するガクゼンと手を組み、ジンギスカンの師であるギケイを捕らえて罠にかけようとする。だがそこにゼンダマンが現れ、毎度悪玉トリオは敗退するのであった。ジンギスカンと義経はもちろん同一人物ではなく、命のもとはここにもなかったのである。

第16話　こぶとりじいさんだよ！ ゼンダマン

　こぶとり山の鬼が命のもとの秘密を握っていると知った悪玉トリオはタイムトラベルして、怠け者で意地悪なおおぶとり爺さんと鬼のもとへと向かう。おおぶとり爺さんは、こぶとり爺さんが鬼の不思議な力で痩せることができたと聞き、自分も痩せたいと考えたのだ。だがそのもくろみは失敗し、怒った鬼によって悪玉トリオともども肥満体にされてしまう。悪玉トリオは、メカで鬼の角を折ってしまうが、それが力の源であったと知り愕然。ゼンダマンに八つ当たり気味にメカ戦を挑む。

第17話　未来の世界へ！ ゼンダマン

　タイムトンネルから突如出現した物質――それは2100年の世界からやって来たものだった。その物質を紋者博士から奪った悪玉トリオは、未来へタイムトラベル。不思議なエネルギーを探している貧乏学者のジャンとともに宇宙へ旅立つ。ゼンダマンもジャンの弟のジミーとともに、宇宙貨物船フロンティア号で後を追う。ホーロー惑星に到着した悪玉トリオとジャンが調査をしていると、大地震が起こり不思議な輝きを持った物質が出現した！　シリーズ中、唯一の未来編である。

第18話　氷河のマンモス！ ゼンダマン

　氷河期へと命のもとを求めてやって来た悪玉トリオは、原始人を手なずけて、命のもとの手がかりと思われる片牙折れマンモスの捜索を開始する。一方、氷河期へ到着したゼンダマンは、そこで出会った少女・ケペペの願いを聞き迷子になった子マンモスの親を捜すことにする。そこに原始人を従えたトボッケーたちが現れ、子マンモスを使って片牙折れマンモスをおびき出そうとする。すると片牙折れマンモスが出現。ムージョはメカを使ってマンモスを捕らえようとするが……。

第19話　アパッチの宝だよ！ ゼンダマン

　16世紀の西部の町・ダッコシティへやってきた悪玉トリオ。そこの保安官からアパッチの宝の話を聞き、それを手に入れたスリー・ザ・キッドの後を追うことにする。その頃ゼンダマンはアパッチの集落を訪れていた。アパッチの宝を取り戻そうと血気にはやる少年マサイは、スリー・ザ・キッドのホロ馬車隊の襲撃に成功するが、そこに悪玉トリオが現れ宝を横取りしようとする。

　今回は悪玉トリオ版の「ゼンダライオン」など、アクダマン出撃シーンもみどころだ。

第20話　バラサイユだよ！ ゼンダマン

　悪玉トリオとゼンダマンは18世紀のフランサにタイムトラベル。ホントワネット王女は貧富の差の激しい世情をうれいていたが、従臣のダーマスは王女の名の下に搾取のかぎりをつくしていた。王女は知り合った若者ファルゼンからダーマスの悪政を知るが、ダーマスと手を組んだ悪玉トリオによって捕らえられてしまう。ダーマスと悪玉トリオは、王女の金庫に隠されている秘宝を狙っているのだ。
『ボカン』～『ゼンダマン』までの歌をミックスして歌うゼンダライオンは必見・必聴。

第21話　ジャムの長政！ ゼンダマン

　1625年。ずる賢い王の命を受けた長政は、ジャム国統一のためスコールの象軍団との戦いに臨んでいた。だが象を戦いの武器にしたくないスコールの少年・パグナムは話し合いで解決できないかと考え、長政に単身会いに出かける。パグナムの言葉に耳を傾けた長政だったが、そこに悪玉トリオが現れ無理矢理にでも戦争を仕掛けようとする。だが間一髪でゼンダマンが登場。悪玉トリオの計画はもろくも崩れるのだった。

　押井守がイメージソースのオシイ星人は、今回より登場。

第22話　ポンペイの最期だよ！ ゼンダマン

　紋者博士の情報によりポンペイへとやってきたゼンダマンは、街から見える活火山のベスビアス山が大噴火寸前だと知る。だが悪徳皇帝クタビレタデスはその話に耳を傾けなかった。一方悪玉トリオもポンペイに到着。皇帝に会うことができたが、その時火山が爆発。逃げ遅れた皇帝は柱の下敷きになってしまう。だがゼンダマンと火山噴火を予知していたサンドロは、皇帝を助けるのであった。噴火から辛くも脱出した悪玉トリオは、ゼンダマンとのメカ戦に挑むのであった！

第23話　かぐや姫だよ！ ゼンダマン

紋者博士はタイムマシンでかぐや姫を現代へ呼び寄せるが、悪玉トリオに横取りされてしまう。かぐや姫とともに現代の京都へと向かったムージョ一味を追って、ゼンダマンも出動。その頃京都では、タケトール博士がUFOによる侵略の危機を訴えていたが、誰も相手にしなかった。そんな博士に取り入った悪玉トリオだが、かぐや姫に死んだ孫娘の面影をみた博士は、彼女に優しく接するだけでなく悪玉トリオにも進んで協力するのであった。だが、かぐや姫にはある秘密があった。

第24話　ゴーレム魔人だよ！ ゼンダマン

中世のボヘミアにやって来た悪玉トリオ。この世界で悪い魔法使いと強欲な地主の手足となって働くゴーレムだったが、本当は優しい心を持っていた。そこに目をつけた悪玉トリオは、ゴーレムを手なずけ街に眠る命のもとと思われる宝を探させようと考える。魔法使いと地主からゴーレムを解放した悪玉トリオは、そのままゴーレムに街を破壊させる。そこにゼンダマンが登場。ゴーレムがムージョたちに騙されていることを教えて、街の破壊を止めさせようとするのだが……。

第25話　アマゾン殺人事件だよ！ ゼンダマン

紋者博士の研究室に忍び込んだ悪玉トリオは、罠によって捕えられてしまうも難なく抜け出し、命のもとと関係があると思われる名探偵エスキュール・ボケロの名刺を奪取。黄金の脳細胞というキーワードを手掛かりに、1908年のアマゾン河にやってきた悪玉トリオは貴族に変装して、ボケロが乗船するマナリーナ号に乗り込んだ。その晩、同乗していた令嬢・マリーがワニでいっぱいの河に突き落とされるという事件が発生！ ボケロはこれを殺人と断定し、直ちに捜査に乗り出す。

第26話　水戸紅門だよ！ ゼンダマン

諸国を漫遊して人々に幸せをもたらしたと言われる水戸紅門が印籠の中に珍しい薬を入れて持ち歩いていたことを知った紋者博士は、この薬が命のもとではないかと推察。それを盗み聞きした悪玉トリオは、水戸紅門がいる1690年の日本へタイムスリップする。紅門様が印籠から出した薬で病人をあっという間に治す様をその目で確認した悪玉トリオは、それを頂戴しようと紅門様に接近。だが、あと一歩のところで影から狙っていた三太少年に薬を奪われてしまうのだった。

第27話　不思議な国のアリス！ ゼンダマン

紋者博士は、イギリスの少女アリスが世にも不思議な国を訪れ、この世で最も価値のあるものを入手したことを資料から発見。アリスのリボンを測定器に掛けた結果、1865年のイギリス・キャロル村に彼女がいることが判明。だが、いつものようにその情報を盗み聞きした悪玉トリオは、リボンも横取りした上で、アリスのいる過去の世界へ向かうのだった。ウサギを追いかけて、洞窟へ入っていったアリスを見かけた悪玉トリオは、彼女と行動を共にすることになるが……。

第28話　牛頭魔人だよ！ ゼンダマン

糸玉を持ったギリシャの英雄テセウスが、命のもとの謎に迫ったと言う。紋者博士は、この糸玉を見つけるもビーナスに扮したムージョに見とれ、催眠ガスで眠らされて糸玉を横取りされてしまう。糸玉の情報から紀元前1500年のアテナイの町に向かった悪玉トリオと、彼らを追うゼンダマン。当時のアテナイは魔神ミノタウロスによって支配されており、町の女性は彼の住むクレタ島へ生贄に送られていたのだった。その生贄の一人、アリアドネ姫を救うため、テセウスは立ち上がった！

第29話　坂本リョーマだよ！ ゼンダマン

命のもとの在り処を示す紙切れを発見した紋者博士は、それを解読機にかけた結果、日本の江戸末期に存在した英雄、坂本リョーマが持っていた辞書の一部であることが判明。博士の行動を先回りして、リョーマに会うため、幕末の京の都へ旅立つ悪玉トリオ。そこではリョーマと西郷が新撰組とつばぜり合いをしている最中だった。そこに割って入った悪玉トリオは船好きのリョーマを言いくるめて黒船メカに乗せ、現代に連れてきてしまう。そこに世界征服を企む一団が絡んできて……。

第30話　怪傑ソロだよ！ ゼンダマン

1880年、スペイン領メキシコで活躍した正義の味方・怪傑ソロの手袋の人差し指が十五夜満月を示す時、S字の最後が示す方向をたどると命のもとが存在するという。紋者博士からこの情報と割符を入手した悪玉トリオは、一路ソロのいるメキシコへ。だが、正義の味方だったソロは一変していて、弱者から金品を強奪する悪党になってしまっていた。その一方で通行証の提示を求めた警官隊にソロの手袋を発見されてしまった悪玉トリオは、ソロの手下と睨まれ砦に連行されてしまう。

第31話　クックンの大航海！ ゼンダマン

トボッケーがゼンダライオン攻略のために究極メカを開発した。それはゼンダライオン同様に歌を歌うライオン型メカ・アクダライオン（演：滝口純平）だった！　南太平洋で様々な島を発見し、最後にこの世で一番大切なものを手に入れたとされるキャプテン・クックンに会うため、悪玉トリオは1772年に出発。幻の黄金の大陸探しに出発したクックンは、洋上で出会った悪玉トリオから協力を持ちかけられるも、彼らから割符である地図の片割れを受け取るとサッサと逃走してしまう。

第32話　弁慶サンだよ！ ゼンダマン

12世紀頃、弁慶は貴重な宝を求め、五条の大橋の上で毎夜侍に戦いを挑んでいた。その弁慶が持つ勧進帳に命のもとの秘密が隠されていると睨んだ博士は、彼を現代に呼び寄せようとタイムトンネルを始動。だが、トンネル内のポイント切り替えによって、弁慶は悪玉トリオの屋敷に連れてこられ、ムージョの色仕掛けに眩み彼らと手を組んでしまう。博士から勧進帳をだまし取った弁慶と悪玉トリオは、そこに記された情報により鉄門橋へ。さらには牛若丸までが現代にタイムリープしてきて……！

第33話　有能忠敬だよ！ ゼンダマン

有能忠敬は幕府の命で蝦夷地の地図を作るために出発し、すごい場所を発見したという。その地図の半分を持つ博士は、残り半分を忠敬に作ってもらえば命のもとを発見できると思いつくも悪玉トリオに地図を奪われてしまう。病弱な母を心配するあまり、一刻も早く地図を完成させて帰りたかった忠敬は、地図の半分を差し出した上に測量の手伝いを申し出た悪玉トリオと手を組むことに。だが、地図が完成すると悪玉トリオはそれを強奪。彼らは、地図に記された謎の洞窟へと急ぐ。

第34話　ヨーローの滝だよ！ ゼンダマン

病気の父親が、ヨーローの滝の水が変化したお酒を飲んで元気になったという言い伝えから、紋者博士はそれこそが命のもとと考えた。博士は、そのお酒を入れたひょうたんの栓を見つけるも、バニーガール姿で現れたムージョにまんまと酔わされてしまい、栓を奪われてしまう。薪拾いで稼いだお金で、病気の父親のためにお酒を買ってあげている孝行息子のカン太は、ある日ヨーローの滝にお酒が流れているのを発見する。悪玉トリオはカン太にその場所を教えて欲しいと接近するが……。

第35話　トラ退治だよ！ ゼンダマン

高麗の国に出兵した勝動清孝は、トラの穴で大切なものを発見したという。1592年の高麗では、豊臣秀吉の命令で遠征した日本軍が手始めに裏山城を攻め落としていた。だが、高麗には虎が多く生息しており、それが日本軍の行く手を阻んでいた。未だ手柄を立てていない清孝は、この忌まわしい虎を退治すれば凱旋できると考える。秀吉公の使いと偽り参上した悪玉トリオと行動を共にした清孝はついに虎を発見、しかし、子供が可愛がっているその虎をどうしても殺すことができなかった。

第36話　チャーンカムバック！ ゼンダマン

ゴールドラッシュ華やかな頃、西部に初めて油田で栄えた町・オイルズタウンを作ったオイルズⅠ世が命のもとを知っているのではないかと睨む紋者博士。その情報を頼りに1860年にタイムスリップした悪玉トリオだったが、その頃のオイルズタウンは石油が底を尽き始め、かつての栄華が忘れ去られつつある有様だった。オイルズⅠ世の孫・ジミーは、母とともに祖父がイースト山のどこかに残したとされる宝を探していた。

ゼンダゴリラを始めとする新メカ3体がこの回で完成する。

第37話　金のガチョウだよ！ ゼンダマン

グリム少年が手に入れた金色に輝く鳥に注目した紋者博士は、その金色の羽を測定器にセット。1785年、ドイツのヘッセン地方に金の鳥がいると判明するが、羽と共にその情報は悪玉トリオの手に。その時代では、笑わない女王を笑わせて褒美をもらおうとグリムとその兄が王様のところへ向かっていた。その道中、お腹を空かしている老人に自分のパンを分け与えたグリムは、老人から金色に光るガチョウを貰い受ける。だが、この鳥が一度触れると離れなくなる不思議な鳥だった。

第38話　鼻のベルジュラック！ ゼンダマン

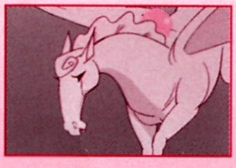
1640年のフランスのガスコン青年隊の中に命のもとのことを知る兵士がいるらしい。その兵士の書き残した恋文を博士から奪った悪玉トリオは、この持ち主に会いに行くためすぐに出発した。青年隊のクリスチャンとその親友シランは、お互いに一人の女性・ロクサーヌを愛していた。クリスチャンにロクサーヌへの恋文の代筆を頼まれたシランは恋愛感情より友情を大切にしてしまい、了解してしまう。あまりの自分の人の良さに嫌気が差してヤケ酒を呑むシランだったが……。

第39話 桃太郎さんだよ！ ゼンダマン

歴史の名を残すほど凄い豪傑のエネルギー源は一体何だったのか？ その辺りに命のもとの秘密が隠されていると踏んだ紋者博士は、桃太郎のきびだんごに目を付ける。桃太郎が使ったとされる幟から、時は昔々の大昔、現在の岡山県である吉備の国に桃太郎がいることが判明。しかし、団子屋に化けた悪玉トリオにその割符を盗まれてしまう。悪玉トリオは桃太郎からきび団子を貰うために、３匹のお供を縛り付け、その代わりに鬼退治に同行しようと企む。

第40話 とべよペガサス！ ゼンダマン

ギリシャにいた天馬ペガサスは、すごいパワーによって人々に恵みをもたらしたという。その言い伝えからペガサスが命のもとと関係があるのではないかと推測する紋者博士だが、カウボーイに扮した悪玉トリオに手掛かりとなるペガサスの靴輪をまんまと奪われてしまう。ギリシアの神話時代に向かったムージョ達は、幸せを呼ぶペガサスを追って旅をする若者ベロロフォンと出会う。彼は、日照り続きで農作物が取れない状況をペガサスの力で救おうとしているのだが……。



第41話 花咲かじいさんだよ！ ゼンダマン

紋者博士は、花咲かじいさんが枯れ木に花を咲かせた不思議な灰こそ命のもとだと睨む。花咲かじいさんが使っていた柄杓を見つけるも、植木屋に扮した悪玉トリオに奪われてしまう。昔々の在所村では、花咲かじいさんが病気の木に灰を振り掛け、花を咲かす治療をしていた。その一部始終を見ていた悪玉トリオは、灰を分けてもらおうとするも、花咲かじいさんは忙しくて取り付く島もない。この評判を聞いた殿様は、花咲かじいさんに桜の枯れ木に花を咲かすよう命じる。

第42話 天才ダビンチ！ ゼンダマン

命のもとの手掛かりとなる手紙を見つけた紋者博士によって、それがイタリアのベネチュアにいたルネサンスの巨匠レオナルド・ダ・ビンチが旅行中のモナリザに宛てたラブレターだと判明する。目ざとい悪玉トリオはいつもの通り手掛かりの品を奪い、1515年のベネチュアへ向かう。だが、間抜けな彼らが盗んだのは封筒のみで、その中身は博士が持っていた。ダ・ビンチが空飛ぶ馬車を発明するために必要とした秘密の素晴らしいエネルギーこそ命のもとだと博士は睨むが……。

第43話 古代オリンピックだよ！ ゼンダマン

古代オリンピック優勝者に与えられた冠は、聖なる森にだけ繁るオリーブの小枝で作られ、最高の値打ち物だった。これが命のもとかもしれないと踏んだ紋者博士は、古代オリンピックと関係のある円盤の半身を手掛かりに調査を開始。ところが怪しい選手宣誓と聖火ランナーが現れ、その円盤を持っていってしまう……。古代オリンピックの優勝者は税金の支払い義務の免除や年金の支給など生活の保障をしてくれることから、生活苦に悩んでいた青年プラテスは出場を決意する。

第44話 コサック勇士だよ！ ゼンダマン

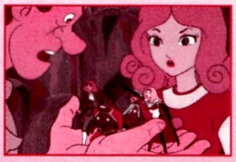
1650年に勇敢なコサック兵隊が持っていた矢尻に命のもとの手掛かりがあるらしい。毎度おなじみ悪玉トリオはコサックダンスを踊りながらその矢尻を奪取、ポーランドとコサックが争う戦場へ赴いた。その銀の矢尻は、謎の財宝の秘密を解く鍵だといわれているが、両国は互いに相手国がその矢尻を持っていると信じ込んでいたのだ。そんな情勢の中、ポーランドの姫マリーナと人目を忍んで愛し合っていたコサックの若者アンドレは、悪玉トリオが誤って川に流した矢尻を手にしてしまう。

第45話 オオカミ男だよ！ ゼンダマン

今回、紋者博士が命のもとの手掛かりに選んだものは、1813年にドイチの国ベロリンの都にいた狼男の金の牙と関係がある黄金のヤットコ。悪玉トリオとゼンダマンは狼男のいる現地へ急行した。ベロリンの町の人々は、毎夜現れる狼男に恐怖でいつも怯えていた。そんな中、狼男は船を襲っていた。この強襲から船員を助けるため、狼男と戦うゼンダマン。しかし、狼男が船を襲うのには理由があった。この船の底には興行師が誘拐してきた狼男の息子が隠されていたのだった……。

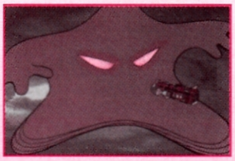
第46話 巨人の国だよ！ ゼンダマン

ジャポーネ国の大平大統領がお忍びで紋者研究所にやってきた。紋者博士は大統領に、冒険家ガリバーの剣が命のもとの手掛かりになると説明する。1702年のマダナスカル海峡で冒険家ガリバーが溺れているところを助けたゼンダマンは、彼にある頼みごとをされる。人々に幸せをもたらす謎の美のエキスのある島が、すぐ目の前にあるので連れて行って欲しいというのだ。だが、悪玉トリオに割符の剣を渡されたガリバーは、彼らと行動を共に。しかし、着いた島は巨人の島だった！



第47話　タイムモンスターだよ！ゼンダマン

果てしなく広がるタイムトンネルの中。そこを走るタイム鉄道赤字線終着駅の車庫の中には、世にも不思議な秘密のものが隠されているという。その車庫の鍵を手にした紋者博士は、その秘められた物こそ命のもとではないかと考える。タイムトンネルの中にはタイムスリップした様々な時代の人達を乗せている幽霊列車が存在する。この幽霊列車は、人々の運命を狂わせ、奪い取った時間をエネルギーとして生き長らえるタイムモンスターのいる終着駅へ向かって走っているのだ……。



第48話　パーパーマンだよ！ゼンダマン

紋者博士はプラネタリウムで星を眺めながら、宇宙惑星プラントンの超人パーパーマンの伝説を思い出していた。パーパーマンのマントを手掛かりに命のもとを探そうとするが、悪玉トリオ扮する不気味なパーパーマンに奪われてしまう。1930年のメメリカ国ではパーパーマンが大活躍していた。悪玉トリオが彼に命のもとの在り処を訪ねると、モーモー団の本部の金庫の中にあると言い残して去ってしまう。謎の超人パーパーマン、その正体はデイリーボロネット社で働く記者だった。

第49話　武蔵ホームラン！ゼンダマン

1980年の現代に宮本武蔵と佐々木小次郎が試合をした際に、武蔵が披露した二刀流が命のもととなったことを預言書で知った紋者博士は、すぐさま武蔵を現代に呼び寄せようとする。だが、博士の元に着く前に悪玉トリオに武蔵を横取りされてしまう。これで命のもとは頂きと思いきや、割符を奪いに屋敷を留守にした隙に、武蔵はいずこかへ姿を消してしまう。悪玉トリオは預言書の通りに事を運ぶため、1612年より小次郎を呼び寄せつつ、武蔵の捜索にも乗り出した。

劇場版　ピラミッドの謎の箱だよ！ゼンダマン

ウソ800年のエジプトのギザのピラミッドの頂上にあるという謎の箱の中に命のもとがあるという。ドンジューローがその箱を奪取しようとしたちょうどその時、ゼンダマンが参上し、取り返されてしまう。収まりのつかない両者は、時間無制限1本勝負のメカ戦で決着をつけることになった！勝負の結果、箱の鍵を入手したゼンダマンが箱を開けると、そこには悪さをしたため800年もの間閉じ込められていた大男が現れた。大男は改心したことを告げると、魔法大王は彼に人々のために尽くすように諭した上で免罪をするのだった。

第50話　天女の羽衣だよ！ゼンダマン

天女の羽衣の切れ端を見つけた紋者博士は、伝説の天女が帰っていった天上界に命のもとがあると推定する。漁夫に羽衣を奪われてしまい、三保の松原にある小さな小屋の中で泣きながら裸でうずくまっていた天女は、悪玉トリオにその一部始終と、破れている羽衣では空を飛べないことを話す。一方、その漁夫は浜で魚が取れず、ヤケ酒を飲み続ける毎日。その漁夫から羽衣の半分を奪い、手持ちの半分と縫い合わせて空を飛ぼうとする悪玉トリオ。だが、その前にゼンダマンが現れた！

第51話　命のもと発見！ゼンダマン

「会津磐梯山は宝の山よ～♪」という歌から、大腹庄助さんが命のもとを知っていると考えた紋者博士。いつもの如く割符を奪った悪玉トリオは、1860年の会津へ。自分の屋敷を一度潰してしまうくらい朝寝、朝酒が好きな大腹庄助さんだったが、そこから復活し大儲けをしているという。その原因は若返って元気になる水を発見したことだという。試しにそれを飲んで半分若返ったムージョ達は本物の命のもとだと確信し、その在り処も突き止め一滴残らず吸い取ってタイムリープした。

第52話　ああ命のもと！ゼンダマン

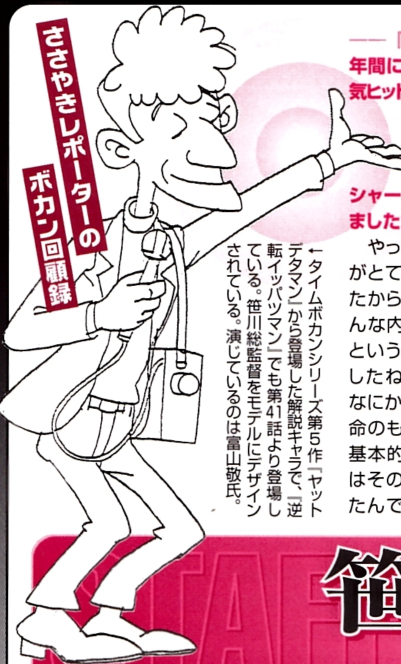
命のもとを手に入れた悪玉トリオは、勝ち誇ったように大喜び。だが、命のもとを入れたタンクから穴が開いていることに気付かずに、ゼンダマンから逃げるために色々な時代を右往左往しつつ現代へ。そこで初めて命のもとを全部こぼしてしまったことに気付いたムージョ達。そんな悪玉トリオを尻目に、ニャラボルタは自分の分だけチャッカリ確保していた。追ってきたゼンダマンと悪玉トリオを前に、500年程未来の本を読んで屋敷にやってきた紋者博士は、様々な秘密について語りだした！

COLUMN
タイムボカンシリーズ初！劇場用新作が登場

1980年に「東映まんがまつり」の1作品として公開された『ピラミッドの謎の箱だよ！ゼンダマン』は、タイムボカンシリーズ初の劇場オリジナル作品として制作されたものである。それまでの劇場版は「東宝チャンピオンまつり」の中でテレビ放映版を再映しており、さらにこの作品の翌年にも『オタスケマン』で劇場用新作が作られたことを考えると、本作はエポックな存在だったと言えるだろう。上映時間は13分と短いが、アクダマメカも劇場用に新規のデザインが起こされるなど、竜の子サイドの気合いの入った様が見えるのがうれしい。

笹川ひろし
［総監督］

『ゼンダマン』は、私のSLへの想いが叶った作品なんです



←タイムボカンシリーズ第5作『ヤットデタマン』から登場した解説キャラで、『逆転イッパツマン』でも第41話より登場している。笹川総監督をモデルにデザインされている。演じているのは富山敬氏。

――『ゼンダマン』は、2年間に渡って放映された人気ヒット番組『ヤッターマン』の後を受けてということで、立ち上げるときにプレッシャーのようなものは感じましたか？

やっぱり『ヤッターマン』がとても長いシリーズでしたから、その次の作品はどんな内容のものにしようかということが、一番悩みましたね。正義と三悪とで、なにか物を探す――今回は命のもとですね――という基本的なシチュエーションはそのままで大丈夫と思ったんですが、まず心配だったのがキャラクターのコスチュームだったんです。登場人物そのものはほぼ同じなわけですから――“敵側は必ず三悪”というのが、この頃からいつの間にか暗黙の決定事項みたいな感じになってきてましたし（笑）――、その分見た目のイメージとしても『ヤッターマン』からきちんと脱皮させることができるかどうかが問題だったんです。『タイムボカン』から『ヤッターマン』へはかなり大きく変化をつけることが出来たんですが、『ゼンダマン』では、長寿番組だった『ヤッターマン』のイメージを残しつつ、でも新しくしなくてはいけないという点が一番大変でした。

――キャラクターのコスチュームとおっしゃいましたが、具体的にはどういった点を意識されたのですか。

ヤッターマンのコスチュームは、マフラーは派手にひらひらさせてますけど、基本的には作業着といいますかいわゆるツナギそのままでしたから、『ゼンダマン』ではもっと“ハリウッド”的といいますか、ショーアップさせましょうということになりまして……。その辺はキャラクターをデザインされた天野喜孝さんが一番苦労されたと思います。でもさすがは天野さんで、ゼンダマンのコスチュームを初めて見たときに、「あ、これなら大丈夫だ!」と感じました。

――ゼンダマンの決めポーズの「Z」のアイデアはどこから考えられたのですか。

あの人文字は、昔の『怪傑ゾロ』という映画がイメージソースになっているんですよ。これもゼンダマンのキャラクターを特徴付ける大きな要素になったと思います。

――すると悪玉トリオの「A」に対しての「Z」という、アルファベットの頭と最後という意味づけの方が後になるわけですね。

そうです。悪玉トリオもマネして人文字を作るけど、いつも上手く行かないという（笑）。三悪側は、ニャラボルタという何千年も生きながらえてきた猫を加えて、逆に『ヤッターマン』のドクロベェみたいな親玉キャラを無くしてみたんですよ。

――でも、最終回ではニャラボルタが実は三悪を利用していたような形になりますよね？

それは最後の頃になって考えたことですね。この猫を最初に出したときは、単に意地の悪い猫くらいにしか考えてませんでした。ムージョに近づく男をひっかいて、ボディーガードしているという感じで……。ニャラボルタは印象的ですね。

――ネーミングはジョン・トラボルタから取ったものですよね。作品全体としての前2作との差別化はいかがでしたか。

『ヤッターマン』ではタイムトラベルはしませんでしたから、もう一度『タイムボカン』みたいに時間を旅させようと考えまして、タイムトンネルを使って過去や未来へ行けるという設定を作りました。ですから、前2作のイイトコ取りみたいな感じにもなってますね。

――『ゼンダマン』の正義側のメカはSLがモチーフになっていますよね。これはタイムトンネルというアイデアがあった上で考えられたのでしょうか。

実は、私は小さい頃からSLや列車が大好きなんですよ。『ゼンダマン』だけでなく『ヤッターマン』でも主人公たちをメカの両サイドのステップに乗って出動させましたけど、あれは操車場でSLや貨車を入れ替え作業するときの鉄道員のイメージなんです。子供の頃、駅の操車場や機関区で貨物列車の入れ替えをする様子を飽きもせずよく見ていて、そこで信号旗を持って貨車のステップに足をかけて作業するあの姿が子供心にすごくカッコいいなぁと思っていたんです。で、それをいつか自分の作品の中でやってみたいと狙っていたんですね。でもヤッターワンは消防車がモチーフになっていましたから、達成感は半分くらいで（笑）。ですから「今度こそ機関車のメカを出すぞ!」と意気込みました。SLはシューって蒸気を出して、パッパッパッと動輪が動くじゃないですか。あれが気持ちいいんですよ。煙突から煙を出したりするのを見ると、なんだかワクワクしてくるんですよ。

――ゼンダライオンは、笹川監督にとって待望の機関車メカだったわけですね。

そうなんですよ!　ただモチーフにする動物をどうしようかと悩みまして……犬では『ヤッターマン』と同じですから。それでライオンを思いつきまして、私がラフ画を描いて、それをもとに大河原邦男さんにデザインしてもらったんですよ。体が前に倒れてSL型になるという私の案を生かして頂いて。スポンサーの玩具会社の方からもそのデザインにOKをいただきまして、SLをメカのイメージに取りいれることができたことは、大変満足でした。それから、列車ですから後ろに貨車をつなげることもできますよね。これは玩具的にもいろいろ展開することが可能だろうとも思っていました。

――実際シリーズ後半では、ゼンダゴリラたちを貨車に乗せて牽引してゆきますよね。

ですからゼンダライオンは、自分にとってはヤッターワンに並ぶ、気分のいいメカなんですね。

――基地もSLの機関区よろしくターンテーブルもありますし、その辺も徹底的ですね。

そうですね。それに鉄ちゃんは鉄道から、さくらちゃんは寝台特急の名前から拝借しています。あと、タイムトンネル内の異次元空間をつなぐのもレールで、途中ポイント切り替えなんかもありますし。徹底していましたね（笑）。

――紋者博士のタイムトンネル出口の直前で引き込み線が分かれて、悪玉トリオの基地につながっているというのも傑作でした。

（笑）。そういう鉄道というイメージソースもしっかり固まってきたので、メカ的な部分でも『ヤッターマン』から離れることが出来ると確信しました。

――ゼンダライオンの、歌が好きという設定がおもしろいですよね。

ゼンダライオンには「♪今は山中、今は浜……」という文部省唱歌の「汽車」みたいなのんびりした歌を、走るときに歌わせたいと

思ったんですね。ただ“歌うライオン”というのは当初から決めていたんですけど、意志を持ってセリフまでしゃべるようにすべきかは迷っていたんです。でも、歌は絶対山本正之さんに歌ってもらおう、それならばいっそのことゼンダライオンの声もお願いしてしまおう、と（笑）。山本さんもゼンダライオン役を快諾してくださったので、そこで歌を歌うのが好きなキャラクターにしようとなったんですよね。

――出動するときに、挿入歌の「ゼンダライオン」を子供たちが歌うというアイデアを思いつかれたきっかけをお聞かせ下さい。

『ヤッターマン』の頃からかなり視聴者の方をギャグのネタみたいな感じで使っていたんですけど、もっと積極的に参加してもらうことは出来ないだろうかと考えていたんです。それで、ある時フッと「ゼンダライオン」を番組を見ている子供たちに歌わせたらおもしろいんじゃないかなと、ひらめいたんですよ。よく視聴者の方からいただいた似顔絵をエンディングなどに流したりしますけど、本編中にゼンダライオンがカラオケを出して、それにあわせて実際に子供が歌うというのはちょっと無いだろうし、子供も喜ぶんじゃないかなと。ただ、やはり現実的なハードルも多くて――例えば、歌ってもらう子供をスタジオに呼ばなければいけないとか、募集はどうするのかとか――、あまり深く考えてしまうと出来なくなりそうだったので、とりあえずやってしまおうと（笑）。

――一番最初に歌った子は、どういういきさつでお願したのですか。

最初に歌ってもらったのは私の娘なんですよ。「自分の名前は恥ずかしいから出さないで」と言われて、それでフィルムでは別の名前になってますけど。あの時は小学1年生くらいでしたか……。でも、いざ録音するとなるとすごく緊張しましてね。現場のみなさんにスタジオから出てもらったりとか、なかなかの“大騒ぎ”になりまして……内心「これは、ヤバイことになったぞ」と（苦笑）。でも山本さんが上手くリードしてくださったこともあって、結構ちゃんと歌うことが出来まして。音響監督さんも「これはいけますね」とおっしゃってくださいました。これでスタッフもかなり手応えを感じまして、そうなると今度は「歌ってくれる子供を捜せ!」と（笑）。

――公募はされたのですか？

それは出来なかったです。でも、毎回歌わせると言っても、基本的に1話につき一人ですから何百人も必要ではないので、いざとなればスタッフのお子さんや親戚の方を頼ればなんとかなりそうでしたから。それに視聴者の方がテープに録音したものを放送局へ送ってきてくれたりもして、それで選ばせてもらったりもしました。紹介するときも最初の頃はイラストでしたけど、途中から写真に変えまして……あれは楽しかったです。バラエティ的な作品でしたから、そういう遊び心も活かすことが出来たんでしょうね。

――究極の視聴者参加型企画ですね。でもアニメは基本的に作り込んであるものですから、そういったことは普通はなかなか難しいですよね。

そうですね。でも、おかげで『ヤッターマン』よりももっと積極的に、視聴者と一緒になって遊んで盛り上げることができました。

――『ゼンダマン』では昔話などを題材にした話が多かったですが、それは娯楽性が前提にあったからでしょうか？

本当に有名な歴史上の人物というのは、やっぱりすごく限られていますから、どうしても誰でも知っているおとぎ話とか児童文学にまで間口を拡げなくてはならないんですよ。それに歴史上の人物は立ち位置の解釈が難しい部分もありますから。

――そうですね。徳川家康も、豊臣秀吉からみれば“悪”ですから。そういう点では、フィクションを題材にした方が善悪がはっきりしているんでしょうね。

それもあります。ですから、どの時代の誰に会うのか、というのは各脚本家さんが苦心されたところですよね。どれくらいなじみのある出来事であったり人物であるかどうか、という点が大事ですから。ネタがかぶらないように、脚本打ち合わせの時にアイデアを出し合ってもらって、調整していました。

――タイムボカンシリーズの時間旅行は、タイムパラドックスは一切気にしませんね（笑）。

あれをやり出すとキリがなくなってしまうんですよ。それでタイムパラドックスは最初から切り捨てることにしました。それに自分としては、タイムパラドックス的なオチというのは、どこかスカッとしない感じもするんです。でも、タイムトラベルものというのはおもしろいですよね。

――メカ戦は脚本段階ではどの程度まで書き込まれていたのですか。

〈ここでメカ戦〉とか〈ここでアクション宜しく〉という程度ですね。すでに『ヤッターマン』で現場のアドリブで脚本をバンバン変えていましたから、『ゼンダマン』辺りになると「書いても無駄だな」みたいな感じで（笑）、演出に任せてもらっていました。でも逆に言えば、今週はどんなメカでどうやって戦わせようかな？　と考えなくてはいけないので、なかなか大変でしたけれど（苦笑）。だんだんアイデアも尽きてくると、話の題材となる時代背景や人物が拠り所になってくるんですね。

――すると、各話の敵メカのデザイン発注はそうしたメカのイメージが出来上がってから行われたわけですか。

そうです。先に毎回のゲストメカデザインがあったわけではありません。ですからメカデザインをされた大河原さんもすごく大変だったと思います、なにぶん毎週ですから。演出的にも、どうやって一旦優位に立たせた上で負けるかという弱点まで考えなくてはいけませんでしたから、ある意味では悪側のメカの方が手間がかかっているとも言えますね。

――その敵のメカは、どれも凝ったギミックが設定されていますよね。

これはもう、大河原さんの独壇場でした。こちらが簡単なアイデアスケッチを出したこともありましたが、ほとんどは大河原さんご自身のアイデアによるものなんです。

――裁判メカが、実はトボッケーの作ったメカというのも愉快ですよね。

そう、自主的に裁かれて、そして自ら罰も受けるんですよ（笑）。

――考えてみたら、すごく自分を律している悪ですよね（笑）。毎回罰を受ける人物は、脚本の段階で決められていたのですか。

そうです。ただその方法もお仕置きメカのデザインが上がってからでしたから、脚本ではお仕置きされる人物だけが決まっていて、どういうお仕置きをされるのかは、コンテの段階で決めていました。

――各話演出として、押井守さんがずいぶんと参加されていますよね。

ちょうど彼が入社してくらいで、アニメフレンドというタツノコプロの関連会社に出向していた時ですね。押井さんがモデルのオシイ星人が出たのも『ゼンダマン』ですよね。……“押井さん、もうちょっといいコンテだといいんだけど、惜しいなぁ”って（笑）。

――あのオシイ星人のデザインは、どなたが描かれたのですか？

あれは僕です。こういう風に遊びながら出来たのはおもしろかったですね。

――笹川さんにとって『ゼンダマン』はどのような作品でしょうか。

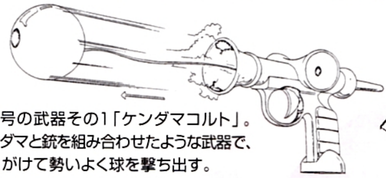
シリーズ全7作ある中で、『ゼンダマン』というのは、極端に突出したものはないとも思うんですけど、よく見ると『ヤッターマン』辺りで獲得した笑いのリズムといったものがふんだんに盛り込まれているんですよ。それから、やはり私のSLへの想いが叶った作品でもあります。そういう意味で、『ゼンダマン』は大変満足のいく作品でした。ですから、思い入れも大きいです。もしディズニーランドみたいなタツノコプロの遊園地が出来たとしたら、実物大のゼンダライオンが客車を引いて走るのは確実ですね（笑）また、それが夢でもありますね。

●インタビュアー・構成：ぽろり春草（スタジオ春草）

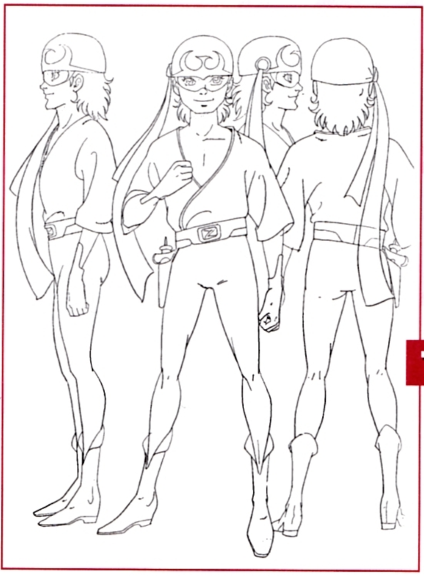
PROFILE

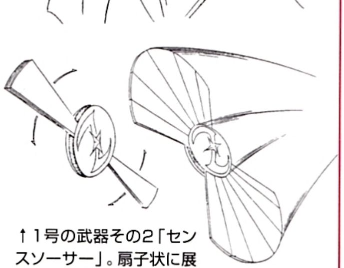
タイムボカンシリーズ全作品の総監督。『マッハGoGoGo』『ハクション大魔王』『新造人間キャシャーン』『ポールのミラクル大作戦』など多くのタツノコ作品の総監督を務めてきた。タイムボカンシリーズのみならず、タツノコ作品を語る上で欠くことのできない演出家である。タツノコ作品以外の代表作としては『ときめきトゥナイト』『忍者ハットリくん』『おーい竜馬』などがある。現在は竜の子プロダクション企画室ディレクターとして活躍中。

CHARACTER & MECHANIC FILE



→1号の武器その1「ケンダマコルト」。ケンダマと銃を組み合わせたような武器で、敵目がけて勢いよく球を撃ち出す。

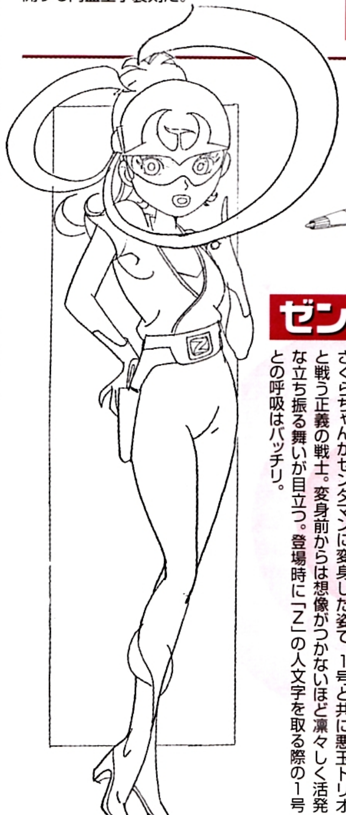




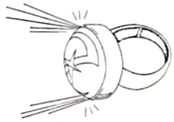
↑1号の武器その2「センスソーサー」。扇子状に展開する円盤型手裏剣だ。

ゼンダマン1号

善意の心に満ち溢れ、どんな悪も許さない善意の固まりの戦士。1号は鉄ちゃんが変身した姿。悪玉トリオが命のもとを手に入れるために紋者博士の研究所から割符を盗み出すや否や、すぐに変身し、彼らの行動を阻止するため正義の名のもと戦いに挑む。



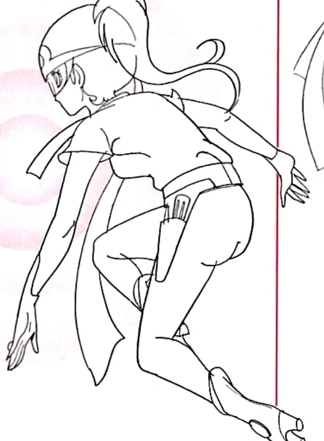
↓2号の武器その1「ペンシング」。ボールペンを模した伸縮自在の武器で、フェンシングの剣のように使用する。

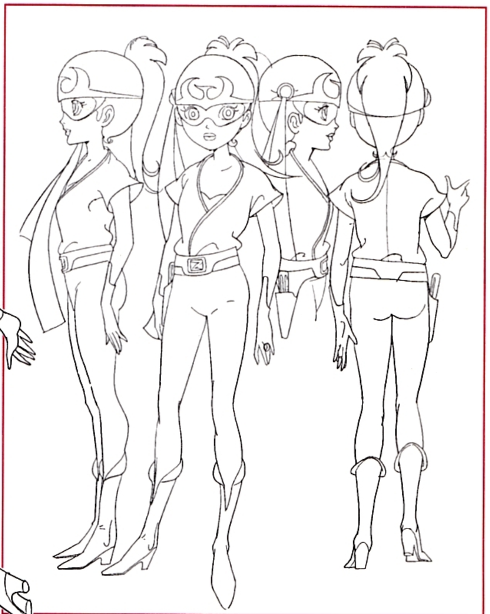


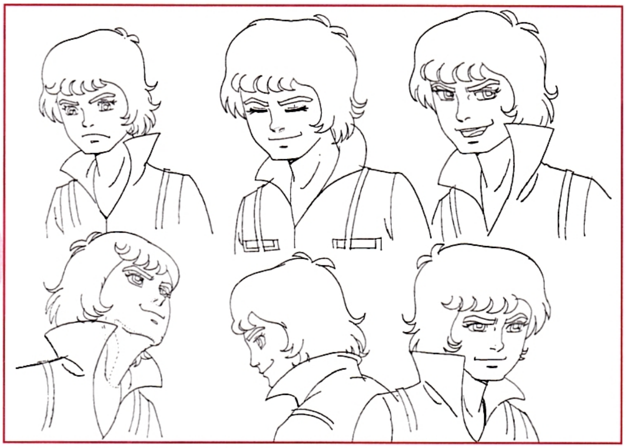
←2号の武器その2「ピカリング」。敵に向けて強烈な光を発生させ、目くらましとして使用する指輪状武器。

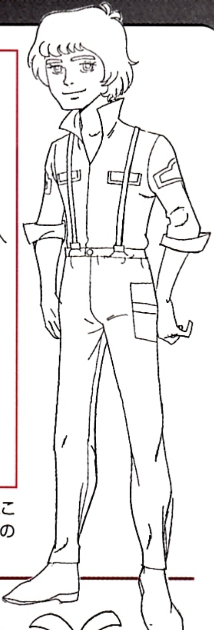
ゼンダマン2号

さくらちゃんがゼンダマンに変身した姿で、1号と共に悪玉トリオと戦う正義の戦士。変身前からは想像がつかないほど凛々しく活発な立ち振る舞いが目立つ。登場時に「Z」の人文字を取る際の1号との呼吸はバッチリ。



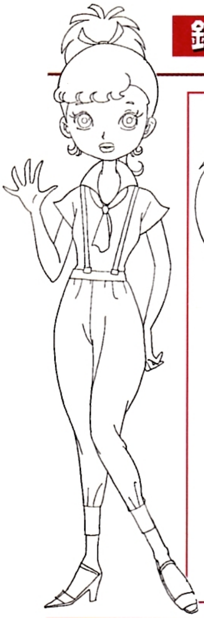


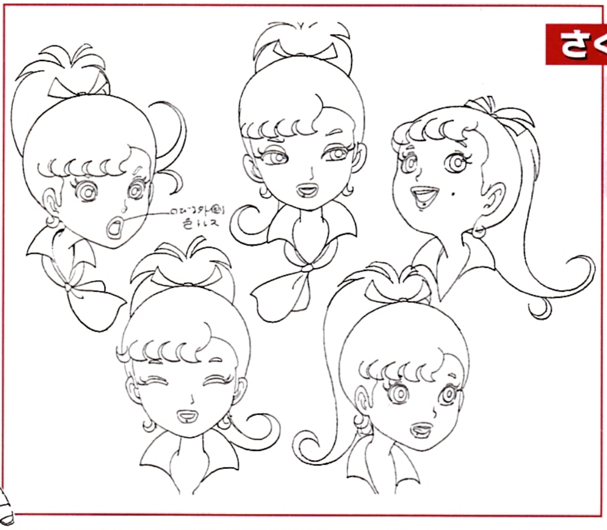




鉄ちゃん

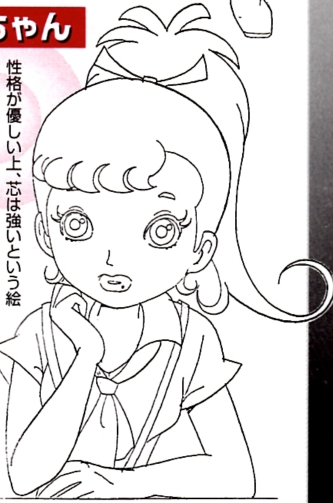
普段は紋者博士の助手をしている13歳の少年。明るい性格をしているが、少しおっちょこちょいなところも。工作がとても得意で、ゼンダマンの武器を始め、ゼンダライオンなどのメカニックの設計・製作も鉄ちゃんによるものだ。





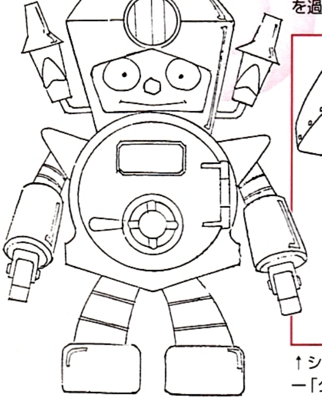
さくらちゃん

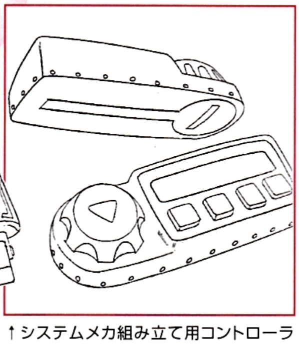
性格が優しい上、芯は強いという絵に描いたような大和撫子の乙女座の12歳の少女。紋者博士の孫娘で鉄ちゃんのガールフレンド。読書が趣味で好物は桜餅。スポーツも万能である。



アマッタン

鉄ちゃんとさくらちゃんが作ったマスコットメカ。ゼンダライオンの監視役を務めている。お腹の中にあるクミコンでシステムメカを組み立てるほか、笛を吹いて救援信号を発し、現世に待機している救援メカを過去や未来に呼び出すことができる。





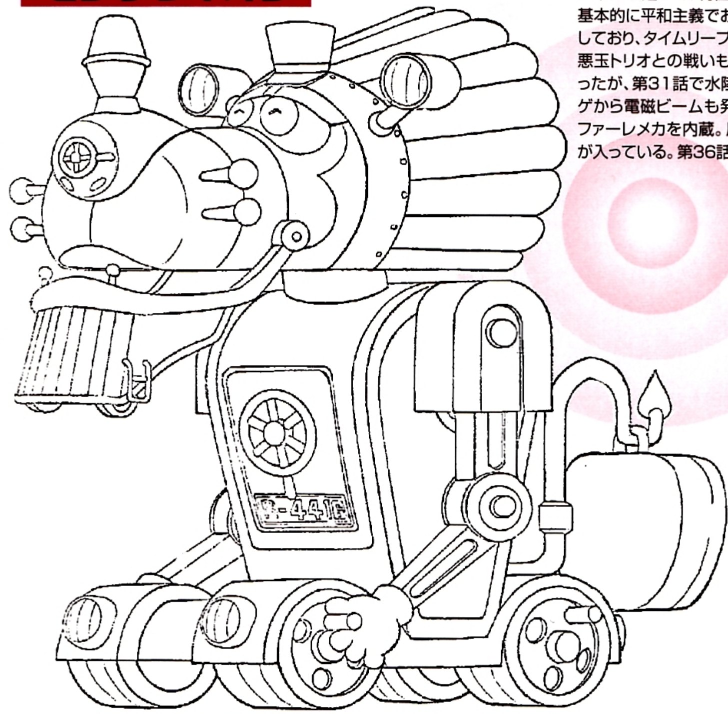
↑システムメカ組み立て用コントローラー「クミコン」。

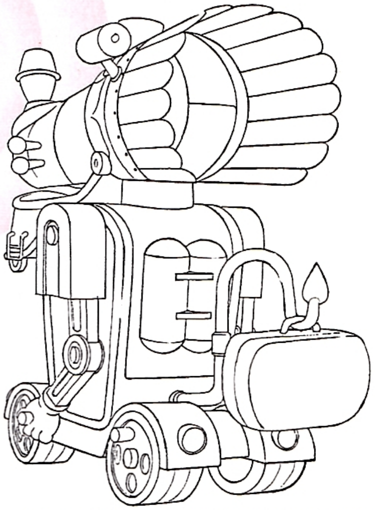
紋者博士

不老長寿の秘薬「命のもと」を手に入れるため、日夜研究に勤しむ博士。60歳。考古学の研究が昂じて、過去や未来へタイムトリップが可能なタイムトンネルまで作ってしまった異才の人である。その割には悪玉トリオに毎度同じパターンで命のもとの手掛かりを盗まれるという間抜けな一面もある。ド近眼で頑固な性格。語尾に「もんじゃ」を付けるのが口癖。

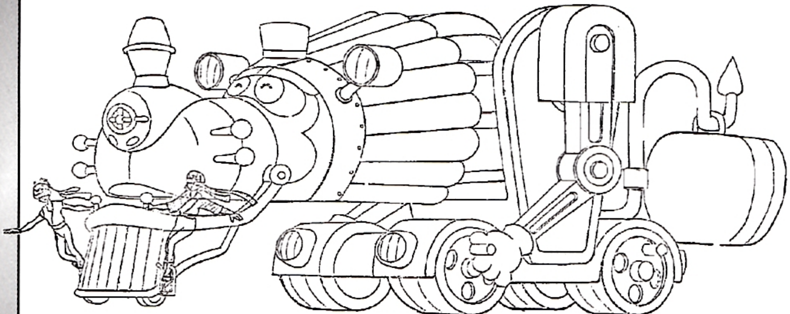
ゼンダライオン

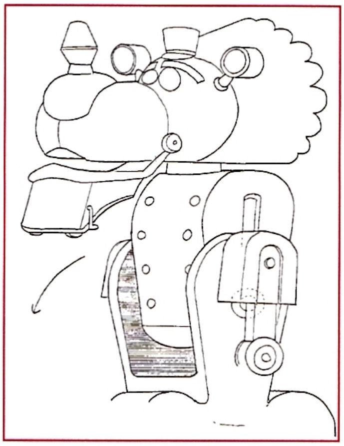
全高9m、重量16t。時速120Kmで走行可能なライオン型SLメカ。タイムトンネルを通じて、現在・過去・未来を自由自在にタイムリープすることが可能。基本的に平和主義でおだやかな性格をしている。歌を歌うことを無上の喜びとしており、タイムリープ中にカラオケを流しながら歌唱するのはもちろんのこと、悪玉トリオとの戦いも己の歌唱力で解決しようとしてしまう。水の中が苦手だったが、第31話で水陸両用となる。歌声による音波攻撃や鼻息攻撃、さらにヒゲから電磁ビームも発射するなど、意外と戦闘能力にも優れる。腹部にファンファーレメカを内蔵。尻尾にぶら下がったカバンの中にはシステムメカの部品が入っている。第36話からはゼンダゴリラ達を運搬するための貨車を連結する。





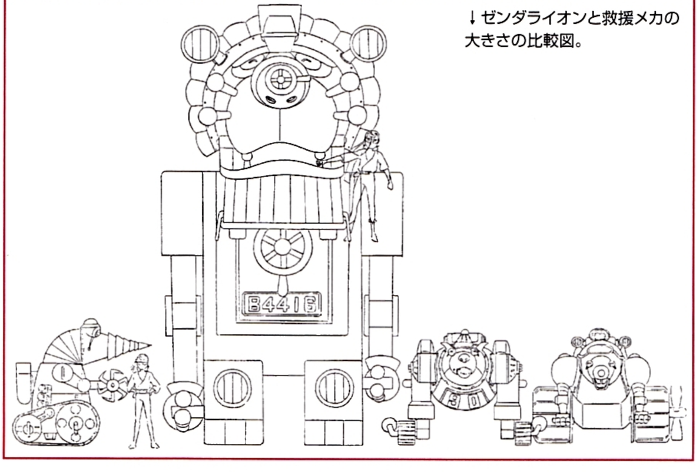
↓ゼンダマンを乗せてタイムトンネル内を運行する際のSL形態。

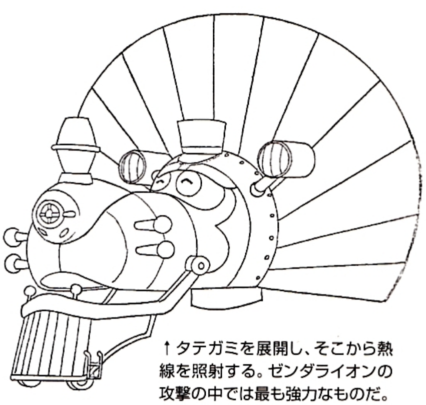




↑通常形態からSL形態への変形機構。

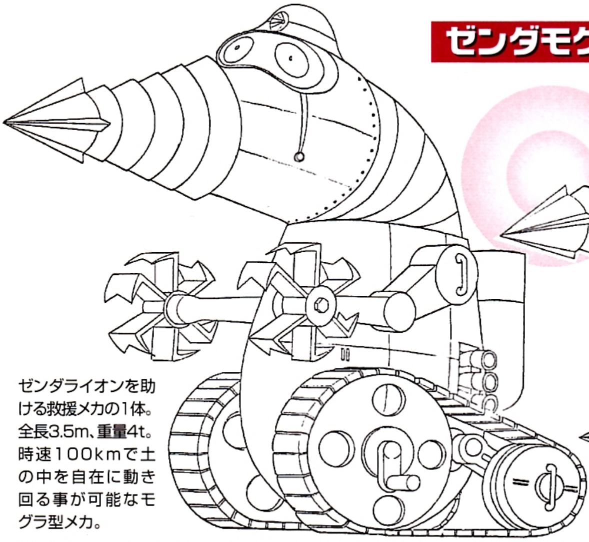
↓ゼンダライオンと救援メカの大きさの比較図。

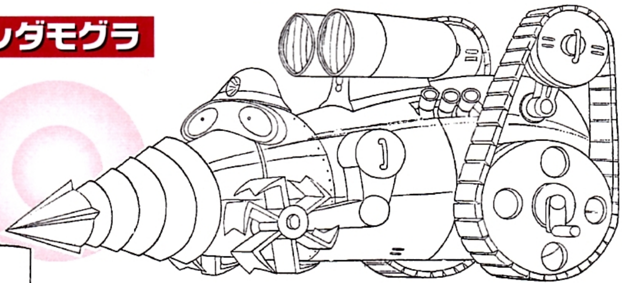




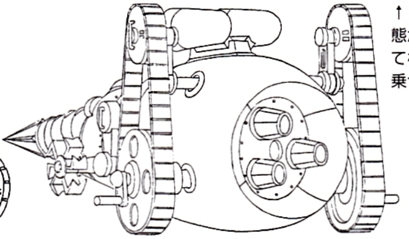
↑タテガミを展開し、そこから熱線を照射する。ゼンダライオンの攻撃の中では最も強力なものだ。

ゼンダモグラ



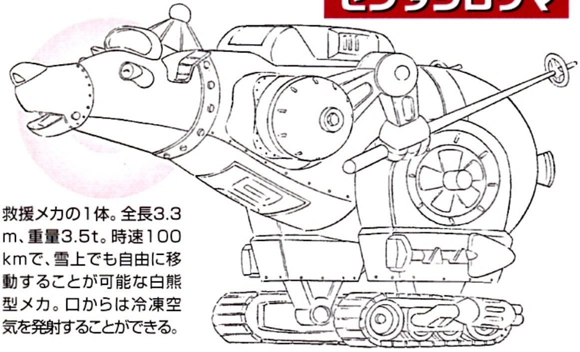


ゼンダライオンを助ける救援メカの1体。全長3.5m、重量4t。時速100kmで土の中を自在に動き回る事が可能なモグラ型メカ。

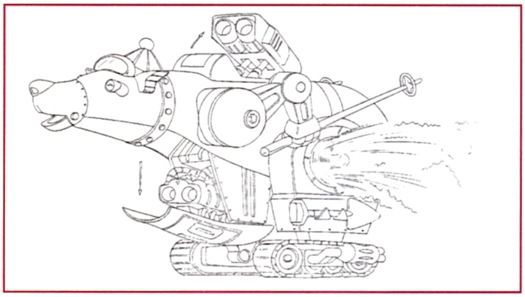


↑スタンディング状態から、首を引っ込めて横型になると人を乗せることが可能。

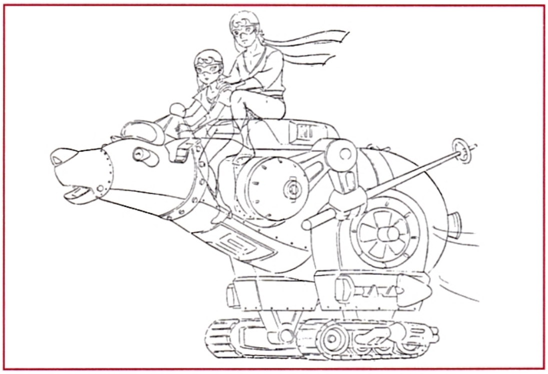
ゼンダシロクマ



救援メカの1体。全長3.3m、重量3.5t。時速100kmで、雪上でも自由に移動することが可能な白熊型メカ。口からは冷凍空気を発射することができる。

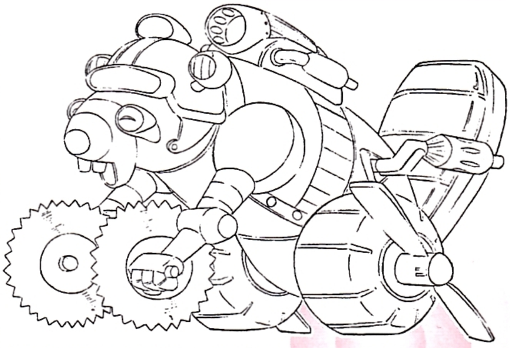


←お腹に強力磁石、足に除雪用ファン、背中に特殊爆弾を搭載。

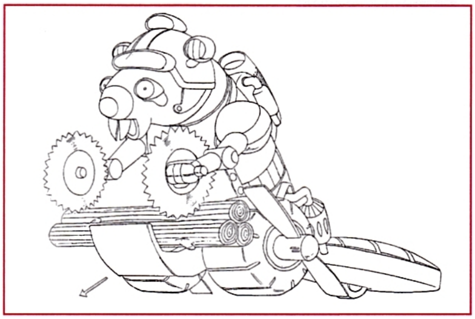


→背中に人を乗せて運用することも可能だ。

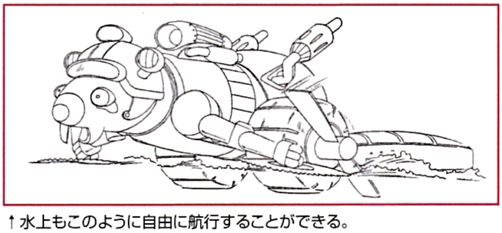
ゼンダビーバー



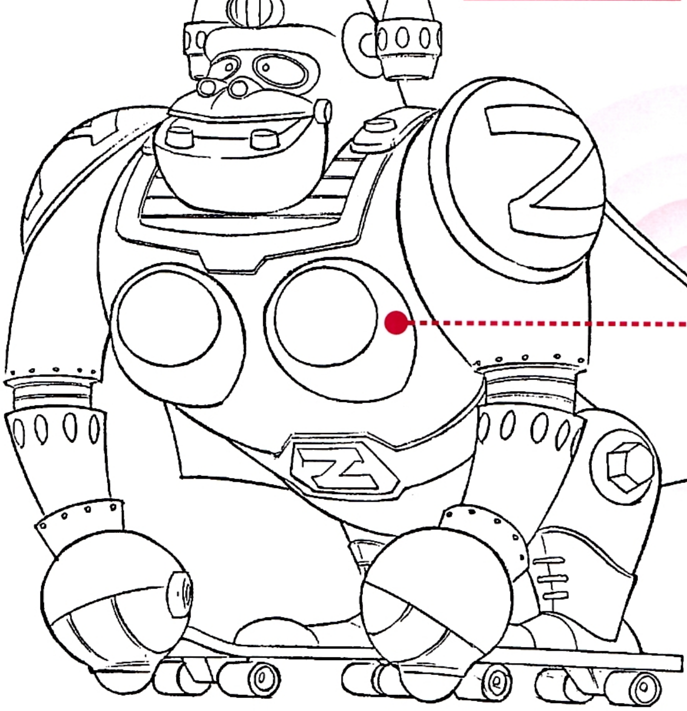
救援メカの1体。全長2.2m、体重2t。時速100kmで水中や森林を楽々と突き進むことができるビーバー型メカ。両手に装備された円盤ノコギリは木を裁断する。足のタイヤは空気タンクで、背中からチェーンを飛ばして敵メカを捕獲する。



←お腹に材木を抱えることも可能。

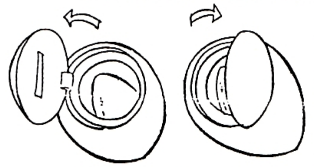


↑水上もこのように自由に航行することができる。

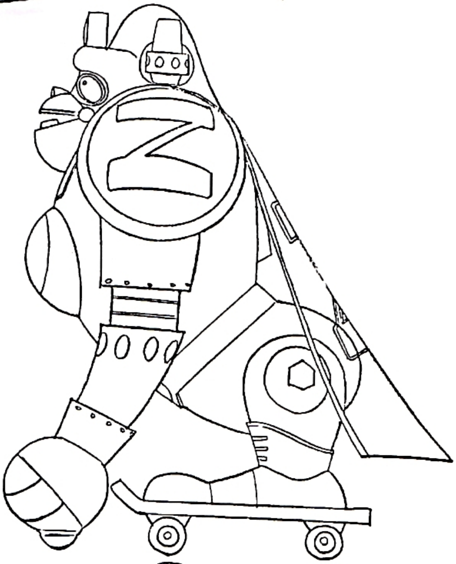


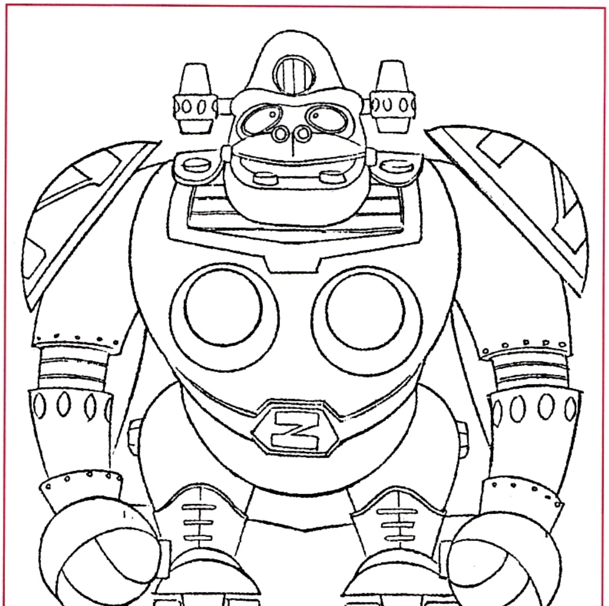
ゼンダゴリラ

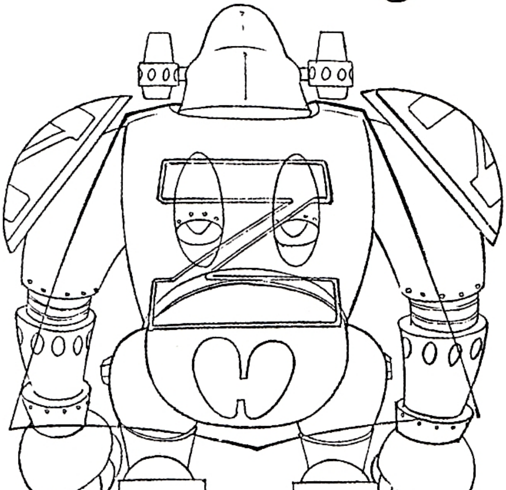
第36話より登場するゴリラ型レスラーメカ。自慢の怪力でアクダマメカをコテンパンに叩きのめす。強い刺激や興奮を受けると、コンピュータの許容量をこえる電流が流れてショートしてしまい、燃料系統のマシンが狂って必要以上のエネルギーを消耗してしまうのが弱点。ムージョの「なやましポーズ」で毎回この弱点をつかれて「春の目覚め」が訪れ動作不能に陥ってしまうも、エネルギー補給と1号の愛のムチによる「野生の目覚め」で復活を果たす。アクダマメカとの対戦の前には「リ～ララ、リララ～」と歌いながらお尻を振る「アクション踊り」を行わないと調子が出ないらしい。



↑両胸はエネルギーカプセルの格納場所になっている。

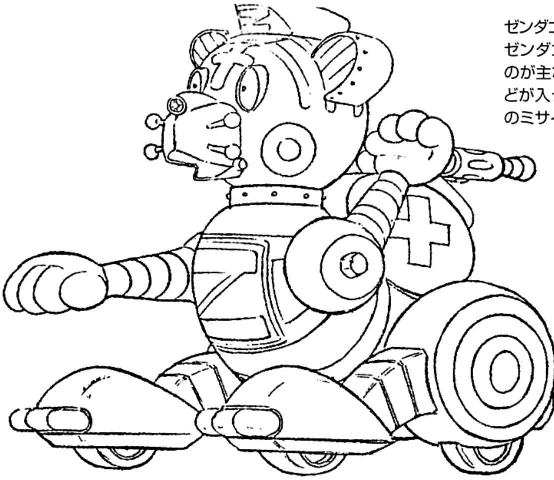


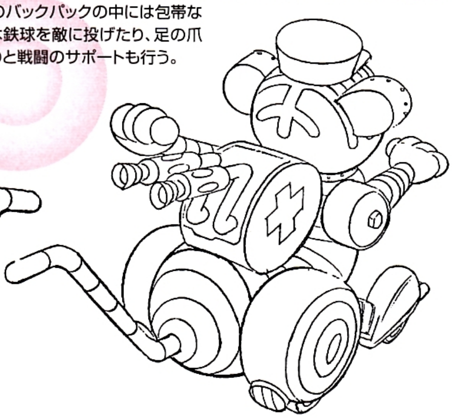




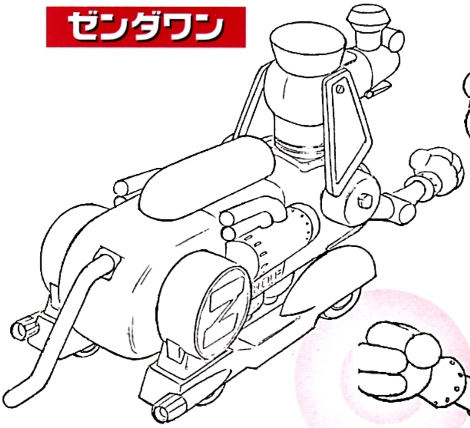
ゼンダコトラ

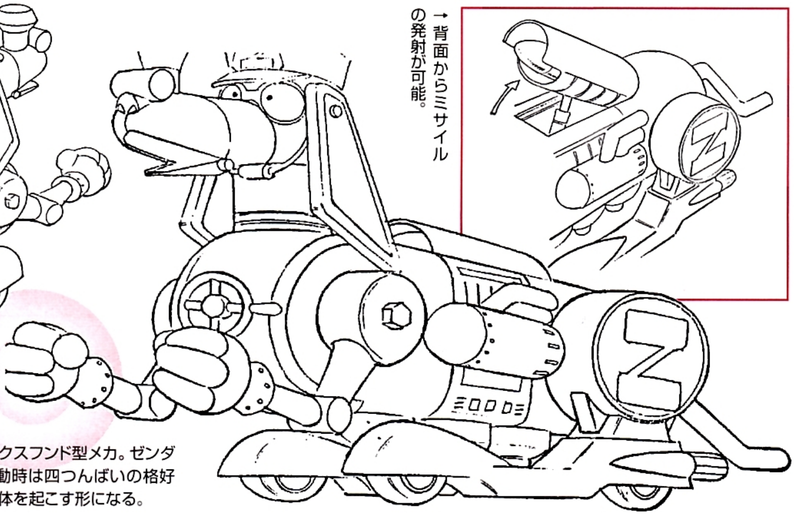
ゼンダゴリラのサポート用に開発された虎の子型メカ。ゼンダゴリラが戦闘中に破損した箇所の修理をするのが主な役目だ。背中のバックパックの中には包帯などが入っている。時には鉄球を敵に投げたり、足の爪のミサイルを発射したりと戦闘のサポートも行う。





ゼンダワン

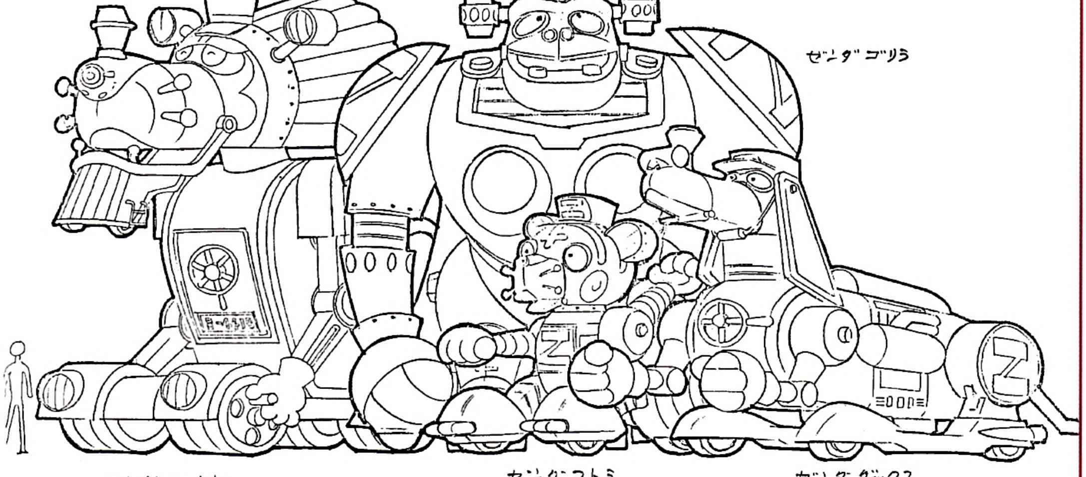


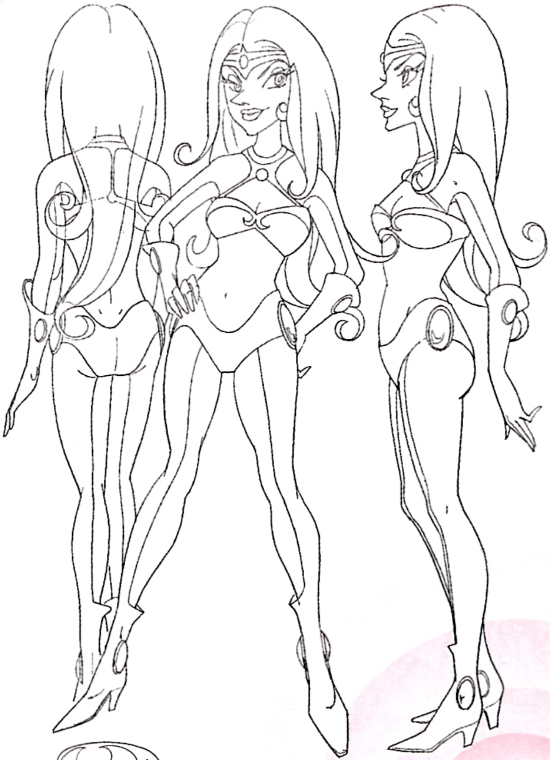


→背面からミサイルの発射が可能。

ゼンダゴリラのサポート用に開発されたダックスフンド型メカ。ゼンダゴリラのエネルギー補給が主な役目だ。移動時は四つんばいの格好をしているが、エネルギータンク発射時は上体を起こす形になる。

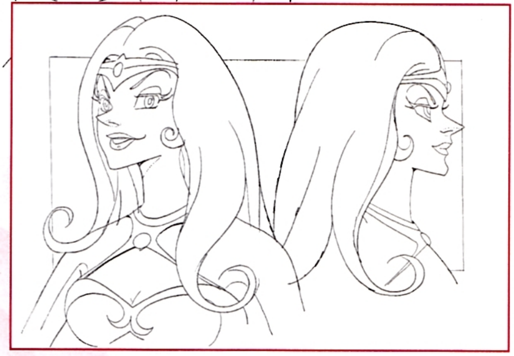
ゼンダライオンと新メカ達との大きさの比較図





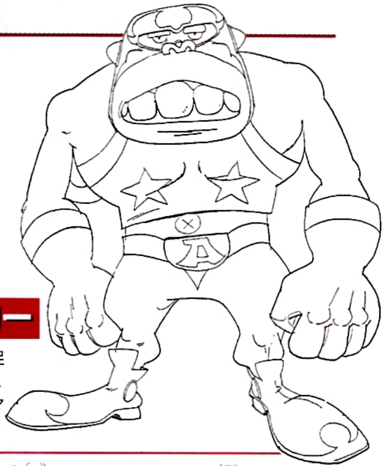
ムージョ

悪玉トリオのボスで、自らの美貌を維持するために「命のもと」を探している。露出狂で、自慢のボディで男を惑わすのが得意。特にゼンダゴリラに露出の多い衣装で迫る「なやましポーズ」は強力。美男子に弱い一面があり、旅先で出会うたびにいつもメロメロになる。また、常にさくらちゃんを美のライバルとして意識している。



アクダマン

悪玉トリオとも呼ばれる謎の盗賊団。「アクダマン」は主に変身後に使われる呼称である。メンバーの3人それぞれが、己の私利私欲を満たすために、命のもとを探している。紋者研究所のタイムトンネルの出口付近から無理やり自分達専用のタイムトンネルの出口を作ったり、タイムトリップ用の悪玉メカを毎回作るなど、かなり本腰を入れて活動している。

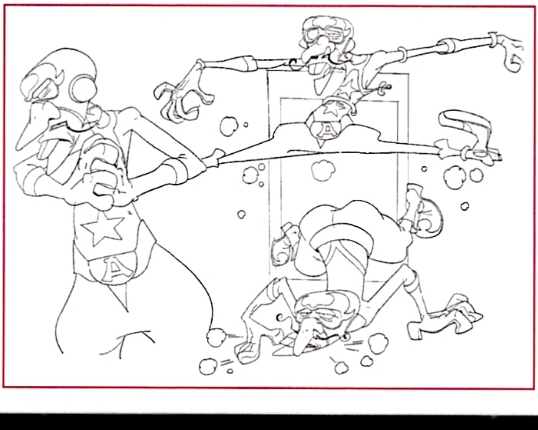


トボッケー

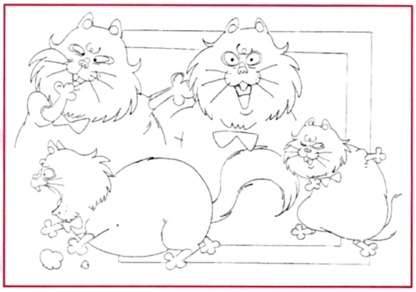
メカ作りの大天才で、情報収集にも優れている。25歳。自称「女子高生のアイドル」。毎回、思考を凝らしたアクダマメカを製作する。

ドンジューロー

怪力自慢で少々オツムの足り無い30歳のオジサン。昔、歌舞伎役者だったらしく、時々見得を切ることも。

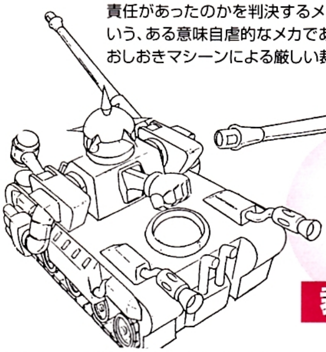


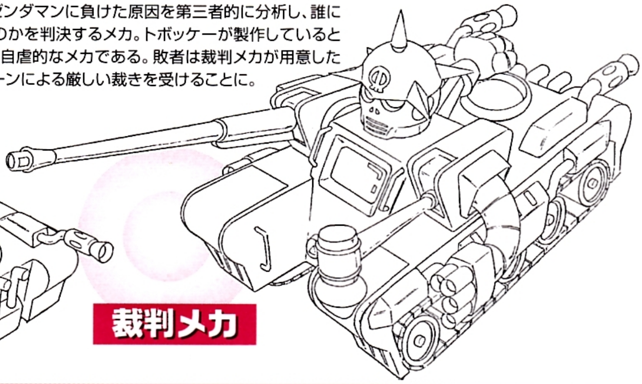
ニャラボルタ



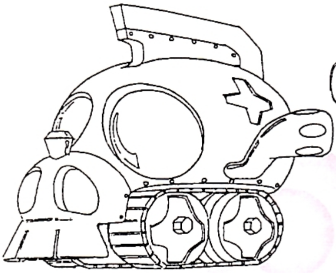
ムージョのペットとして可愛がられている猫。だが、その実態は4000年もの間「命のもと」で生き長らえてきた猫で、悪玉トリオに身を寄せているのも命のもとを労せずして手に入れるためだった。ムージョに暴言を吐いたトボッケーの顔を自慢の爪でよく引っかいている。

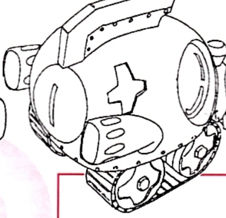
悪玉トリオがゼンダマンに負けた原因を第三者的に分析し、誰に責任があったのかを判決するメカ。トボッケーが製作しているという、ある意味自虐的なメカである。敗者は裁判メカが用意したおしおきマシーンによる厳しい裁きを受けることに。





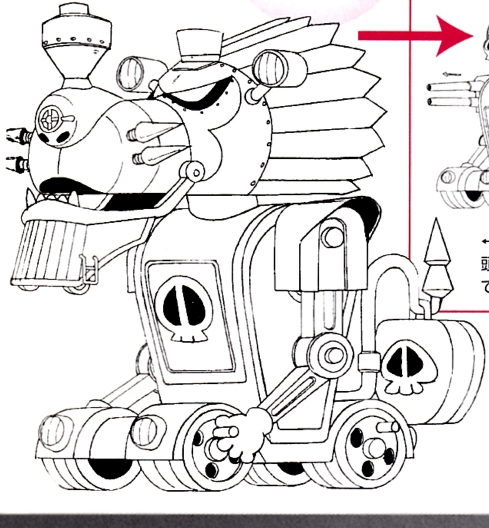
裁判メカ

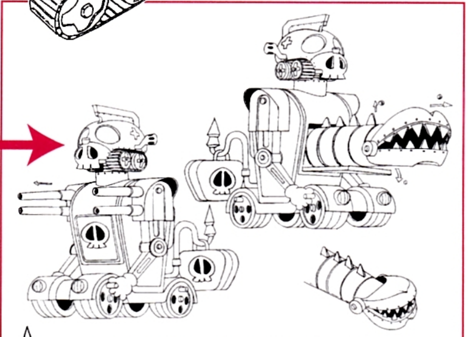




シャレコウベメカ

アクダマメカの核となるメカで、単体でもタイムトンネルを通したタイムリープが可能。毎回アクダマメカがやられても、壊れずキチンと帰還できるところを見るとかなり頑丈なようだ。





←↑第31話で登場したアクダマメカ「アクダライオン」。頭部装甲が破壊されても、御覧のように「メカ衣替え」でより強力な姿に変化する。

アクダマメカ

シャレコウベメカを中心に装甲や武器を加えていき、完成させるタイムリープメカ。一旦破壊されても、「メカ衣替え」と称してパワーアップを計るなど凝った作りをしている。

コクピットメカ

ボカンシリーズに欠かせないギャグメカのオンパレード！ その中のいくつかを御紹介します。

●おだてブタ

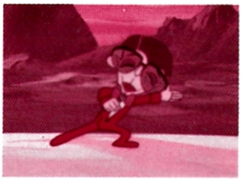
「ブタもおだてりゃ木に登る」のセリフでおなじみの定番ギャグメカ。木が鉄道用信号になっているのが芸細である。

●オシイ星人

「オーシイオーシイオーシイオーシイナー。モウーチョットー」と三悪をひやかすメカ。本編の演出を担当した押井守氏がモデルである。

●コーラスガラス

4羽のカラスによるひやかしメカ。「ヤル～ヤル～ヤル～」と来て、最後に「やられるゾ、きっと、な」と締める脱力系メカだ。

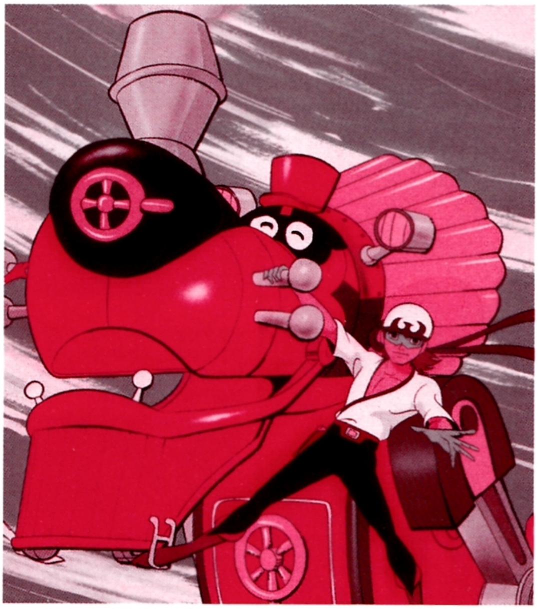


●トミー・ヤマ

ゼンダゴリラの戦いの様を実況中継するメカ。声優の富山敬氏がモデルになっており、声も本人があてている。（※このメカはコックピット外に出現）

●お答えマシーン

悪玉トリオが分からない謎なことを的確な解説で教えてくれるカラス型メカ。第47話で幽霊列車&タイムモンスターについて解説した。



もたぶんBGMは初めてだったと思うんですが、彼もいろいろと試してみたいことがあったと思います。ですから、お互い苦労みたいなものは全然ありませんでした。それで、市さんと僕とで一緒に譜面を書こうということにしまして、ちょうど写譜屋さん（注：作曲家・編曲家が書いた譜面をもとにレコーディングやコンサートで使う楽器の各パート譜を作成・清書する業務）の事務所にピアノがあったので、それを使って二人で曲を作ったのを覚えています。

――『ゼンダマン』はシリーズとしては3作目になりますが、前2作との音楽的な差別化や変化といった点についてうかがいたいのですが。

主題歌は、その都度その作品にあったものを特徴づけようと考えていました。それから当時の音楽的な流行りなども取り入れてみたりしました。主題歌はキャラクター表や企画書をテーブルの上に広げながら作ったんです。で、資料にしたキャラクター表はその後、当時幼稚園だった姪のぬりえになりました（笑）。「ゼンダマンの歌」はちょっと『ヤッターマン』とは違った感じにしようということもありまして、マイルドな歌謡曲っぽい感じにしてみました。庄野真代さんの曲がイメージとしてありました……。

――エンディング主題歌の「これまたアクダマン」についてですが。

「探して探して」とか「飛んで飛んで」と合いの手を入れている声の主は、実は僕と神保正明さんです。倍速に加工して使っているので、テープの速度を半分に落とすと、僕と神保さんの声に聞こえるはずです。『タイムボカン』と『ヤッターマン』のエンディング主題歌はイントロをわざと同じ形にしましたが、さすがに3作連続はどうかとも思いまして、「これまたアクダマン」ではイントロを変えました。

STAFF INTERVIEW

山本正之

［音楽／ゼンダライオン役］

『ゼンダマン』によって、タイムボカンシリーズは“ライフ”になったんです

――まず、タイムボカンシリーズの音楽を担当されるきっかけ辺りから、お話をお伺いしたいと思います。

僕が作詞作曲した「うぐいすだにミュージックホール」という笑福亭鶴光さんのヒットソングがありまして、その担当ディレクターの隣の席に座っていたのが『タイムボカン』担当の浅野さんという音楽ディレクターだったというのがきっかけです。その方は『タイムボカン』のためにおもしろい曲を作れる作曲家を探していたのですが、偶然「うぐいすだにミュージックホール」を聞いて“これはおもしろい。この人にお願いしたい”ということになりまして……担当ディレクターさんが、僕を浅野さんに紹介して下さったんです。

――アニメのBGMを作曲したのは、『タイムボカン』が初めてだったのですか？

初めてです。『タイムボカン』の主題歌が僕に決まって、当たり前のようにディレクターさんから「じゃあ、BGMの録音日ですが……」と言われてしまって（笑）。僕は主題歌だけだと思っていましたから、突然のことですごくビックリしました。

――当時のアニメは、主題歌を作曲された方がそのままBGMを担当するというのが普通でしたから、レコード会社としては、当然BGMも山本さんで、と考えられていたのでしょうね。

だと思います。でも何喰わぬ顔をして――まるで、先刻承知のように――「わかりました。BGMのレコーディングは○月×日で大丈夫です」とお答えしまして（笑）。それで家に戻ってから急いで作曲家仲間の市 久さんに電話をして「一緒にやりましょう」とお誘いしたんです。

――それではBGMの作曲は、なかなか大変だったのではないですか。

いえいえ、とても楽しくやらせていただきました。僕も当時はまだ25歳前後で、たまっているものもいっぱいありましたから、“こんな曲が書きたい”“あんな曲も書きたい”という具合で、いろいろ試すこともできましたし、やりがいもすごくありましたね。市さんもたぶんBGMは初めてだったと思うんですが……

――神保正明さんとコンビを組まれたのは、いつからですか。

『ヤッターマン』の時からですね。メカがいっぱい登場してくるので、「燃えよドラゴンズ！」みたいに勢いのあるカッコいいアレンジができる人、ということでお願いしました。

――役割分担みたいなものはあったのですか。

まったくの半々ですね。音響監督の鳥海俊材さんとスタジオで打ち合わせをした後、僕と神保さんとで喫茶店に入りまして、BGMのメニューリストを拡げて、「これは僕」「これは神保さん」と上から順々に割り振っていくんですよ。だいたい正義側のカッコいい曲や心理描写の曲が神保さんで、三悪の曲や情景描写の曲～～エジプト風とか大航海時代風など～～は僕が作曲しました。『ヤッターマン』でもこの方式でしたから、『ゼンダマン』の時にはもうトントン拍子で決まっていきましたね。

――それでは、いよいよゼンダライオンのお話に移るわけですが、声優としてのオファーが来たときは、やはり驚きでしたか？

それは、先ほどのBGMのエピソードの時と同じような気持ちでした。内心ビックリしつつも、顔は平然としつつ……。

――「アフレコはいつでしょうか？」と（笑）。

その通りです！　でも声優として番組にレギュラー出演なんてしたことはありませんから、オファーが来た時は本当にビックリしました。『タイムボカン』のLPのドラマでちょっと出演したことはありましたけど、もしかしたら笹川ひろしさんの頭のどこかにその時のことがあって、それで“使ってみよう”となったのかもしれませんね。それにしてもオープニングで「音楽／主題歌：山本正之」、エンディングで「ゼンダライオン：山本正之」とテロップが出るわけですから、僕が番組をサンドイッチしてるみたいですね（笑）。考えてみたらスゴイことです。

――結構プレッシャーも大きかったのではないですか？

最初はもう緊張と恐怖のかたまりで……。やっぱり未知の世界ですし、現場にいらっしゃる方々も、恐いですから。

——三悪を演じていた小原乃梨子さん、八奈見乗児さん、たてかべ和也さんは当時すでに大ベテランでしたからね。

これは色々なところでよく言っているんですが、たてかべさんは顔が恐い、八奈見さんは声が恐い、そして小原さんは気品が恐いんです。とは言うものの、実際には第１話のアフレコから優しくしていただいておりました。あと、三ツ矢雄二さんや滝沢久美子さんといった若い声優さんとも仲良くなりましたし。特に三ツ矢さんは僕と同じ愛知県出身で、僕は彼が子供時代に出演していたTV番組を見ていたので、そういう話で盛り上がったりもしました。ですから、毎週ピクニックのように、大変楽しくやらせていただきました。ただ、声優として参加すると決まったときは、自分が毎週決まった時間に決まった場所へきちんと行くことができるのかが、すごく不安だったんですよ。

——音楽の仕事の場合、例えばレコーディングは３日間くらい一気に集中して録音してしまうなど、実務時間に激しい波がありますからね。

それが自分にとっては快感でもありましたし。ところが１年も経ったら、毎週アフレコ現場に行くのが快感になってしまったんですよ（笑）。行かなくてはいられなくなってしまうという……。小原さん、八奈見さん、たてかべさんに毎週お会いできるというのも大きな魅力でした。僕はそれがすごく嬉しかったんです。人生のアドバイスもたくさんしていただきました。あの御三方は、僕にとって、人間としての師匠です。

——ゼンダライオンを演ずるにあたって、具体的な指示みたいなものはありましたか。

セリフは歌にして下さいと言われました。たまに「おいらはがんばる!」とか普通にしゃべってもいましたけど、ほとんどは「♪おめでとぉ～お～」という風に節を付けた形になっていました。おかげで、“セリフをしゃべるのではなく、歌を歌えばいいんだ”という気持ちに自分を持っていけたので、変にプレッシャーを感じることなく演じることができたと思いますね。

——ゼンダライオンが出動するとき、毎回お子さんたちが歌うという点が特徴になっていましたが。

富山敬さんの娘さんや、清水マリさんの息子さんも歌いに来ましたね。でも子供もやっぱりマイクの前に立つと緊張するんですよ。ですからリラックスさせるために、僕は子供の後ろについて、調子をとりながら、肩の下の辺りを支えるように抱いていてあげるんです。それで歌い出しのところで背中をポンと押してあげると、「♪ぜんだ～あくだ～」って歌い始めるわけです。

——ああいった試みもタイムボカンシリーズならではですよね。

すばらしいことですよね。

——山本さんは、笹川さんから子供たちに歌わせるというアイデアを聞いたときは、面食らわれましたか?

全然そんなことはなかったです。それこそ、このシリーズの真骨頂だと思いました。レコードでは僕が歌っていますが、もともとこの歌は子供のものだと思って作ったものなので、本来の場所に還ったんだという意識でした。面食らうどころかどんな歌い方でもいいのでどんどん子供に歌わせてあげて下さい、という感じでした。

——実際にお子さんたちが歌っているのを聞いたご感想はいかがでしたか。

みんな上手でしたよ。ですからあまり僕の出る幕はなかったですね。本当に歌い出しのタイミングを取ってあげるくらいで……中にはちゃんと歌い出す直前に息を吸って、自分でタイミングを取っている子もいて、そういう子には背中はたたかないで、そのまま歌わせました。それくらい練習してきている子供もいましたね。

——笹川さんは「山本さんが優しい歌のお兄さん的な雰囲気もあって、子供たちも歌いやすかったのでしょう」と言われていました。

今思い出したんですが、アフレコスタジオに行くと、その日に歌う子供がおかあさんと一緒に調整室で待っているんですね。それで紹介されるときに、優しい顔をしていないと子供が怖がって緊張してしまうと思いまして、これが始まってからは、できるだけニコニコしてスタジオに入ることにしていたんですよ（笑）。

——アフレコ現場で、アドリブ的に歌を作ることもあったということですが。

ありました、ありました。確かスタジオにギターもあったと思います。ですから、もういつでもOKという感じで。前もって言われることもありましたし、アフレコ当日に、こんな歌をお願いしますと言われることもありました。台本に〈ここに歌が入る〉みたいなことが書いてあるんですよ。それで、もしかすると……と思うと、居残り特訓じゃないですけど、アフレコ後に一人でスタジオに残って録音するんです。

——その台本に書かれている〈歌の部分〉には、演出家さんから注文のようなものはあったのですか?

それは、完全にこちらにおまかせだったんですよ。一行くらいのセリフがあって、それを歌にしたいのですが……という感じでお願いされて。『ヤットデタマン』の時に三悪が負けたときに歌う「♪やられちゃったくやしいな、こんどこそ勝ちましょう……」というのもそういう雰囲気で生まれた歌ですね。演出の方から「このセリフをみんなで歌わせたいのでお願いします」と。

——まさにお遊びの連続ですね。

本当に楽しかったですよ。特に『ゼンダマン』の時は声優として初めて参加しましたので、それまでアフレコ現場には年に５～６回くらい遊びに行く程度だったのが、毎週アフレコ現場を見学できるようになったわけですから（笑）。より楽しくなった頃ですね。

——毎週、アフレコ現場で声優さんたちと一緒にキャラクターを演じられるようになって、山本さん御自身の中での変化はありましたか。

毎週アフレコ現場へ行くということは、それだけ現場のスタッフの方とお会いする機会が増えるということになりますよね。その分スタッフの方々と意見交換をする場が増えるわけですから、それがすごく良かったです。現場の方はアドリブでドンドンおもしろくしていくわけですから、こちらも前の週の放送を見た上での意見——例えば「この音楽は、もっと楽しい場面で使った方が盛り上がりますよ」とか——をすぐに言えるようになったわけです。しかもアフレコが終わった後は、必ず呑みに行ってましたし。実は、僕はそれまでお酒は呑めなかったんですが、『ゼンダマン』に参加するようになって呑めるようになったんですよ。お酒の席での意見交換はすごかったです。声優さんも小原さんを中心に、“ああしよう、こうしよう”と盛り上がっていましたね。

——より作品に密接に関わられるようになったわけですね。

言葉を換えれば、『ゼンダマン』で“より深みにハマっていった”わけですね（笑）。ドンドンと抜けられなくなってしまった、という。

——劇中のお遊び的な部分も、そうした親密な交流があって、よりエスカレートしていったのですね。

そうです。深みにはまればはまるほど、それに反比例して盛り上がっていくんです。僕にとってのタイムボカンシリーズは『オタスケマン』『ヤットデタマン』辺りでピークに至りますが、それも『ゼンダマン』があってのことなんです。つまり『ゼンダマン』は、僕がタイムボカンシリーズとより親密になっていくきっかけになった作品なんです。『タイムボカン』『ヤッターマン』と続けて関わってきて、このシリーズがものすごい作品なんだという意識は持っていたんですが、『ゼンダマン』によって、完全に自分の“ライフ”になったんです。

●インタビュアー・構成：ぽろり春草（スタジオ春草）

PROFILE

作詞・作曲家、歌手。1951年7月11日生まれ。1974年『燃えよドラゴンズ!』の作詞・作曲でデビュー。タイムボカンシリーズや『銀河旋風ブライガー』に始まるJ9シリーズの音楽（劇伴、主題歌および挿入歌）は、氏の代表作として広く知られる。また、ボカンシリーズでは声優として、ゼンダライオン（『ゼンダマン』）ゲキガスキー（『オタスケマン』）ドンファンファン伯爵（『ヤットデタマン』）2-3（『逆転イッパツマン』）を演じた。他にも『UFO戦士ダイアポロン』『おじゃまんが山田くん』など関わられたアニメ作品多数。アニメ以外ではNHK教育『このまちだいすき』やNHK『みんなのうた』などに曲を提供する傍ら、劇団「山本正之プレゼンツ」主宰として演劇の世界でも活躍中。

FILMOGRAPHY

※基本的に放映当時の本編エンディングテロップの表記を参考にリストを制作しています。ただし、テロップの表記が間違えている場合には、正しい表記に統一しています。さらにテロップに記載されていない絵コンテ担当者については、竜の子プロ社内制作のリストから引用しております。

話数	サブタイトル	脚本	絵コンテ	演出	作画監督	原動画
1	無敵はステキ！ゼンダマン	山本 優	笹川ひろし	大貫信夫	芦田豊雄	木口準、穴倉敏、小河清美、北川祐子
2	竜宮城だよ！ゼンダマン	山本 優	大貫信夫	大貫信夫	平山則雄	中島京子、北條昌子、薄井義雄 橋本とよ子
3	エデンの園だよ！ゼンダマン	佐藤和男	押井 守	押井 守	海老沢幸男	海老沢幸男、望月敬一郎、安藤淳子 高橋理恵
4	ヤマタイ国だよ！ゼンダマン	山本 優	岩田 弘	岩田 弘	鈴木英二	斎藤ふみやす、アドコスモ
5	月吉丸の大出世！ゼンダマン	佑木 仁	湯山邦彦	湯山邦彦	田中 保	須田勝、佐々木寿子、佐藤元
6	大進撃だ八字軍！ゼンダマン	山本 優	岩田 弘	真砂智康	鈴木英二	アドコスモ、竜の子研修室
7	走れ白馬！ゼンダマン	山本 優	笹川ひろし	押井 守	魚取 弘	川本乗權、戸田真理
8	ドン・万次郎だよ！ゼンダマン	佐藤和男	八尋 旭	岩田 弘	鈴木英二	アドコスモ、竜の子研修室
9	ボケの仙人だよ！ゼンダマン	小山高男	八尋 旭	高井戸仁	渡瀬健太郎	山本光夫、梅田哲、安西芳郎、白鳥圭子
10	超徳太子だよ！ゼンダマン	山本 優	押井 守	押井 守	西城隆詞	岸義之、森中正春、金子成子、梶谷光春 川島玲子
11	父をたずねて三千里！ゼンダマン	海老沼三郎、酒井あきよし	真砂智康	岩田 弘	鈴木英二	斎藤ふみやす
12	長ぐつをはいた猫！ゼンダマン	佐藤和男	大貫信夫	大貫信夫	平山則雄	中島京子、北條昌子
13	バイキングだよ！ゼンダマン	山本 優	八尋 旭	湯山邦彦	笹木寿子	笹木寿子、渡辺邦男、佐藤元、増井泉 久保美八子
14	謎のアステカ！ゼンダマン	山本 優	八尋 旭	岩田 弘	鈴木英二	鈴木英二、ニシコプロ
15	ジンギスカンだよ！ゼンダマン	筒井ともみ	八尋 旭	高井戸仁	渡瀬健太郎	寺本晃、野田哲、三井文
16	こぶとりじいさんだよ！ゼンダマン	酒井あきよし	高垣幸蔵	押井 守	平山則雄	堀川留子、中島京子
17	未来の宇宙へ！ゼンダマン	佑木 仁	八尋 旭	岩田 弘	鈴木英二	斎藤ふみやす
18	氷河のマンモス！ゼンダマン	山本 優	押井 守	押井 守	西城隆詞	岸義之、森中正春、金子成子、梶谷光春 川島玲子
19	アパッチの宝だよ！ゼンダマン	小山高男	真砂智康	岩田 弘	鈴木英二	鈴木英二、ニシコプロ
20	バラサイユだよ！ゼンダマン	海老沼三郎	棚橋一徳	長谷川康雄	林 政行	高木敏夫、戸川政夫、長島玲子、富田一美
21	ジャムの長政！ゼンダマン	小山高男	大貫信夫	大貫信夫	平山則雄	半田輝男、中島京子、魚取弘、川本乗權
22	ポンペイの最期だよ！ゼンダマン	小山高男	真砂智康	岩田 弘	鈴木英二	斎藤ふみやす、前田美紀恵、山下良美
23	かぐや姫だよ！ゼンダマン	佐藤和男	大貫信夫	大貫信夫	西城隆詞	岸義之、森中正春、金子成子、梶谷光春 川島玲子
24	ゴーレム魔人だよ！ゼンダマン	山本 優	押井 守	押井 守	平山則雄	半田輝男、中島京子、魚取弘、川本乗權
25	アマゾン殺人事件だよ！ゼンダマン	山本 優	押井 守	押井 守	西城隆詞	岸義之、森中正春、金子成子、梶谷光春 川島玲子
26	水戸紅門だよ！ゼンダマン	小山高男	岩田 弘	岩田 弘	鈴木英二	金子康良、鈴木二郎、前田美紀恵 山下良美
27	不思議な国のアリス！ゼンダマン	佐藤和男	大貫信夫	大貫信夫	加藤章子	玉野陽美、内田文子、高橋あけみ
28	牛頭魔人だよ！ゼンダマン	山本 優	押井 守	押井 守	魚取 弘	川本へいけん、竜の子研修室
29	坂本リョーマだよ！ゼンダマン	山本 優	大貫信夫	大貫信夫	西城隆詞	岸義之、森中正春、金子成子、梶谷光春
30	怪傑ソロだよ！ゼンダマン	山本 優	棚橋一徳 押井 守	岩田 弘	平山則雄	半田輝男、中島京子、杉崎容子、鈴木芳子
31	クックンの大航海！ゼンダマン	佐藤和男	真砂智康	岩田 弘	鈴木英二	斎藤ふみやす、前田美紀恵、山下良美

話数	サブタイトル	脚本	絵コンテ	演出	作画監督	原動画
32	弁慶サンだよ! ゼンダマン	山本 優	押井 守	押井 守	西城隆詞	岸義之、森中正春、金子成子、梶谷光春
33	有能忠敬だよ! ゼンダマン	酒井あきよし	真砂智康	岩田 弘	鈴木英二	金子康良、鈴木二郎、前田美紀恵 山下良美
34	ヨーローの滝だよ! ゼンダマン	小山高男	押井 守	案納正美	西城隆詞	岸義之、森中正春、金子成子、梶谷光春
35	トラ退治だよ! ゼンダマン	酒井あきよし	案納正美	小島多美子	平山則雄	昆進之介、中島京子、アドコスモ
36	チャーンカムバック! ゼンダマン	山本 優	大貫信夫	鴫野 彰	加藤章子	玉野陽美、内田文子、高橋あけみ
37	金のガチョウだよ! ゼンダマン	佐藤和男	真砂智康	岩田 弘	鈴木英二	玉沢武、山本徹也、寺島純、伊藤真知子
38	鼻のベルジュラック! ゼンダマン	酒井あきよし	押井 守	小島多美子	西城隆詞	岸義之、森中正春、山口聡、梶谷光春
39	桃太郎さんだよ! ゼンダマン	佐藤和男	真砂智康	岩田 弘	鈴木英二	鈴木考夫、前田美紀恵、山下良美
40	とべよペガサス! ゼンダマン	佐藤和男	案納正美	小島多美子	西城隆詞	岸義之、森中正春、山口聡、梶谷光春
41	花咲かじいさんだよ! ゼンダマン	佐藤和男	永樹凡人	関田 修	上条 修	木村正人、富田悦子、二階堂進
42	天才ダビンチ! ゼンダマン	山本 優	真砂智康	岩田 弘	鈴木英二	斎藤ふみやす、佐藤雅枝、山本哲也 佐々木晴美
43	古代オリンピックだよ! ゼンダマン	小山高男	案納正美	鴫野 彰	平山則雄	中島京子、泉口薫、昆進之介、川筋豊
44	コサック勇士だよ! ゼンダマン	山本 優	案納正美	鴫野 彰	西城隆詞	岸義之、森中正春、山口聡、梶谷光春
45	オオカミ男だよ! ゼンダマン	山本 優	永樹凡人	鈴川元昭	窪 秀巳	武者文俊、小峰典子、日下部久枝
46	巨人の国だよ! ゼンダマン	佐藤和男	真砂智康	岩田 弘	鈴木英二	斎藤ふみやす、佐藤雅枝、山本哲也 佐々木晴美
47	タイムモンスターだよ! ゼンダマン	山本 優	大貫信夫	関田 修	上条 修	木村正人、富田悦子、二階堂進
48	パーパーマンだよ! ゼンダマン	佐藤和男	案納正美	岩田 弘	鈴木英二	斎藤ふみやす、矢尾正一、前田美紀恵 室谷澄代
49	武蔵ホームラン! ゼンダマン	山本 優	広川和之	鈴川元昭	窪 秀巳	武者文俊、小峰典子、日下部久枝
50	天女の羽衣だよ! ゼンダマン	海老沼三郎・酒井あきよし	押井 守	小島多美子	加藤章子	北條昌子、杉崎容子、玉野陽美、内田文子
51	命のもと発見! ゼンダマン	小山高男	案納正美	岩田 弘	鈴木英二	玉沢武、山本徹也、寺島純、佐藤雅枝
52	ああ命のもと! ゼンダマン	小山高男	大貫信夫	鴫野 彰	平山則雄	中島京子、北條昌子、杉崎容子 兵頭多美子、鈴木芳子、島康恵

[劇場版スタッフ]

- ●企画:九里一平、柳川茂、宮田知行
- ●脚本:小山高男
- ●監修:笹川ひろし
- ●監督:大貫信夫
- ●キャラクターデザイン:天野嘉孝
- ●メカニックデザイン:大河原邦男
- ●美術担当:岡田和夫
- ●プロデューサー:柴田勝
- ●録音ディレクター:鳥海俊材
- ●制作担当:新井正彦、又吉信正
- ●制作協力:アニメフレンド
- ●制作:竜の子プロダクション
- ●配給:東映株式会社

■DVD制作スタッフ

プロデューサー:川瀬浩平(パイオニアLDC)/DVDディレクター:川綱俊治(キュー・テック)/BOX&ジャケットディレクター:伊平崇耶/パッケージコーディネーター:青木 裕(パイオニアLDC)/アートディレクション:坂井ヒロミ(CUiR WORKS)/解説書 構成・執筆:谷澤光一(BEANKIDS)、ライター:ぼろり春草(スタジオ春草)/SPECIAL THANKS:吉田昇一(タツノコプロ)、長見敏子(タツノコプロ)

■参考資料

タイムボカン全集(ソフトバンク)/タイムボカン全集2悪の華道(ソフトバンク)/タツノコプロアニメ大全史(辰巳出版)/ぶたもおだてりゃ木にのぼる(ワニブックス)/ロマンアルバム Animageアニメポケットデータ2000(徳間書店)/押井守全仕事 増補改訂版(キネマ旬報)/前略、押井守様。(フットワーク出版)/タイムボカン名曲大全(ビクター音楽産業(現:ビクターエンタテインメント))

©タツノコプロ

PIBA-1325